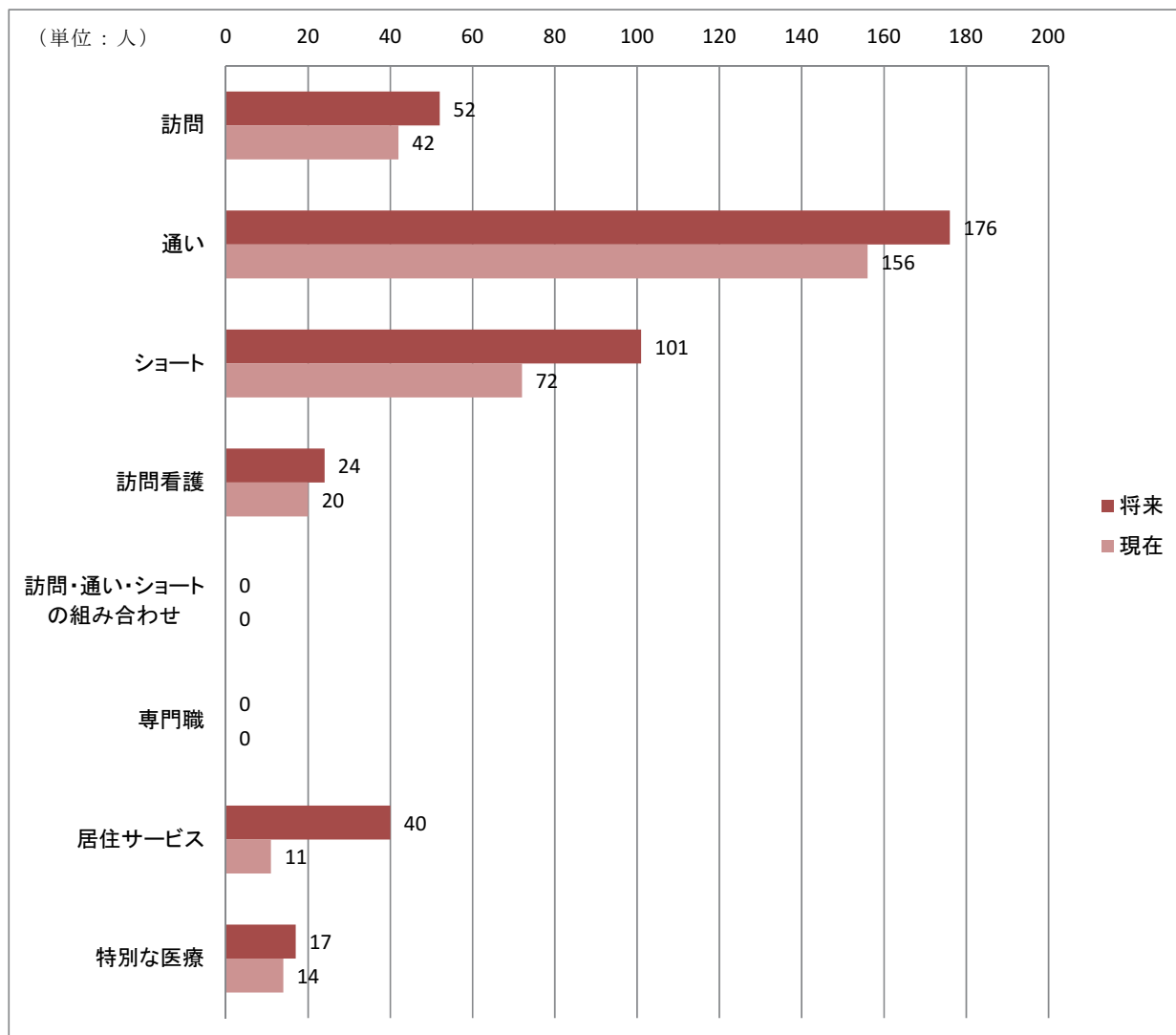


## 9. 三島

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が176人、「ショート」が101人、「訪問」が52人などとなっている。

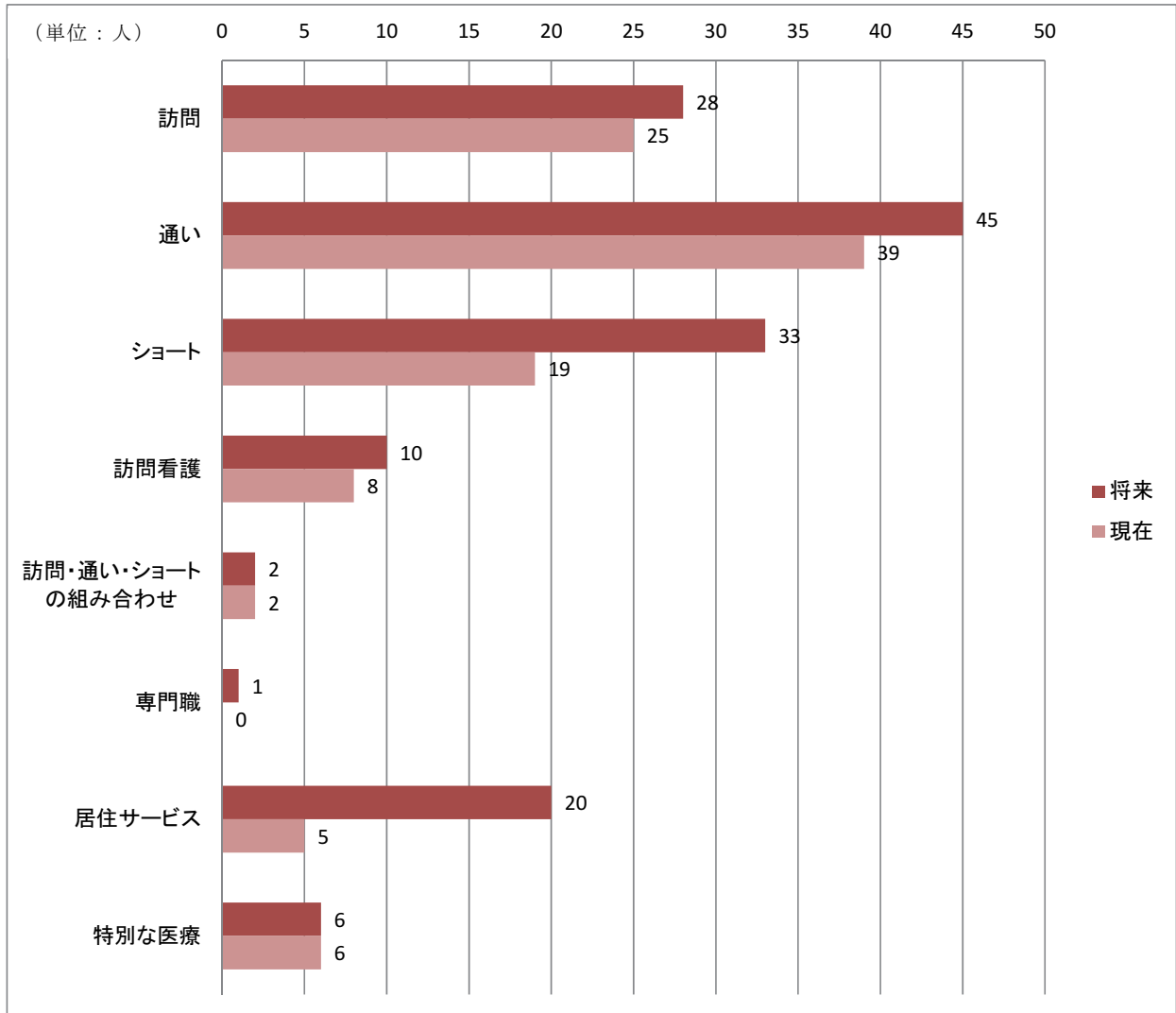
図表2-44 「三島」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



## 10. 山古志

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が45人、「ショート」が33人、「訪問」が28人などとなっている。

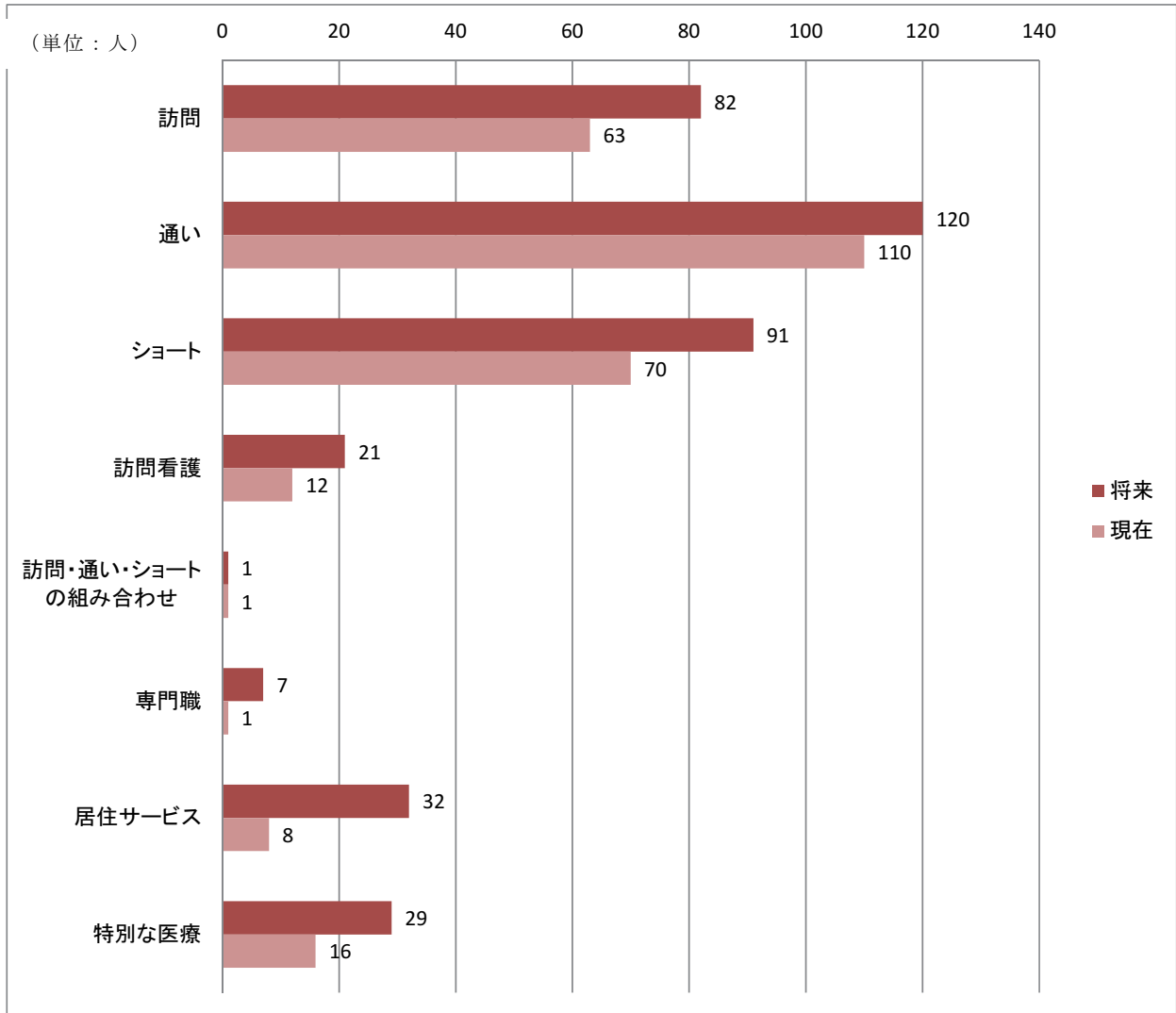
図表2-45 「山古志」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



## 11. 小国

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が120人、「ショート」が91人、「訪問」が82人などとなっている。

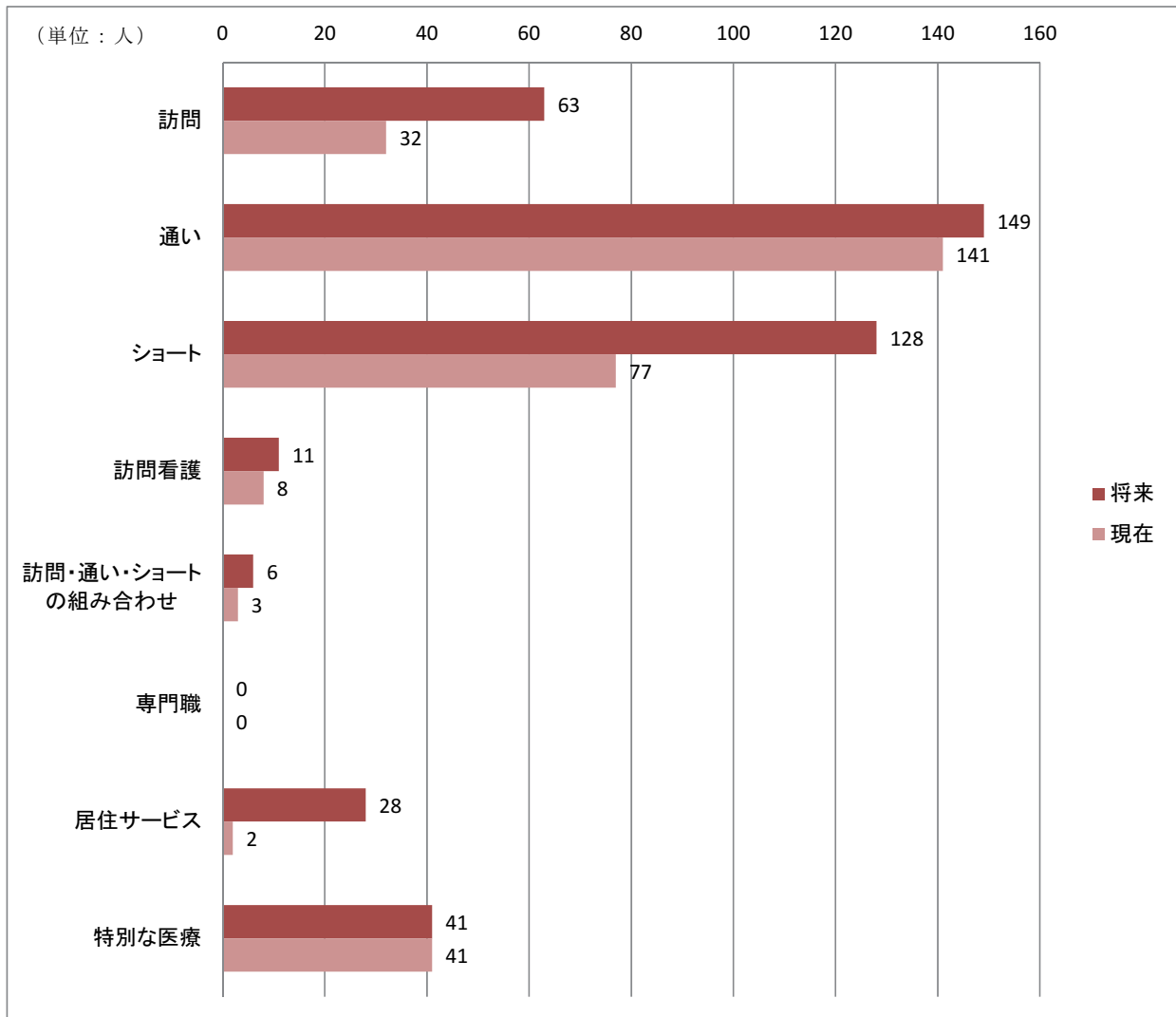
図表2-46 「小国」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



## 12. 和島

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が149人、「ショート」が128人、「訪問」が63人などとなっている。

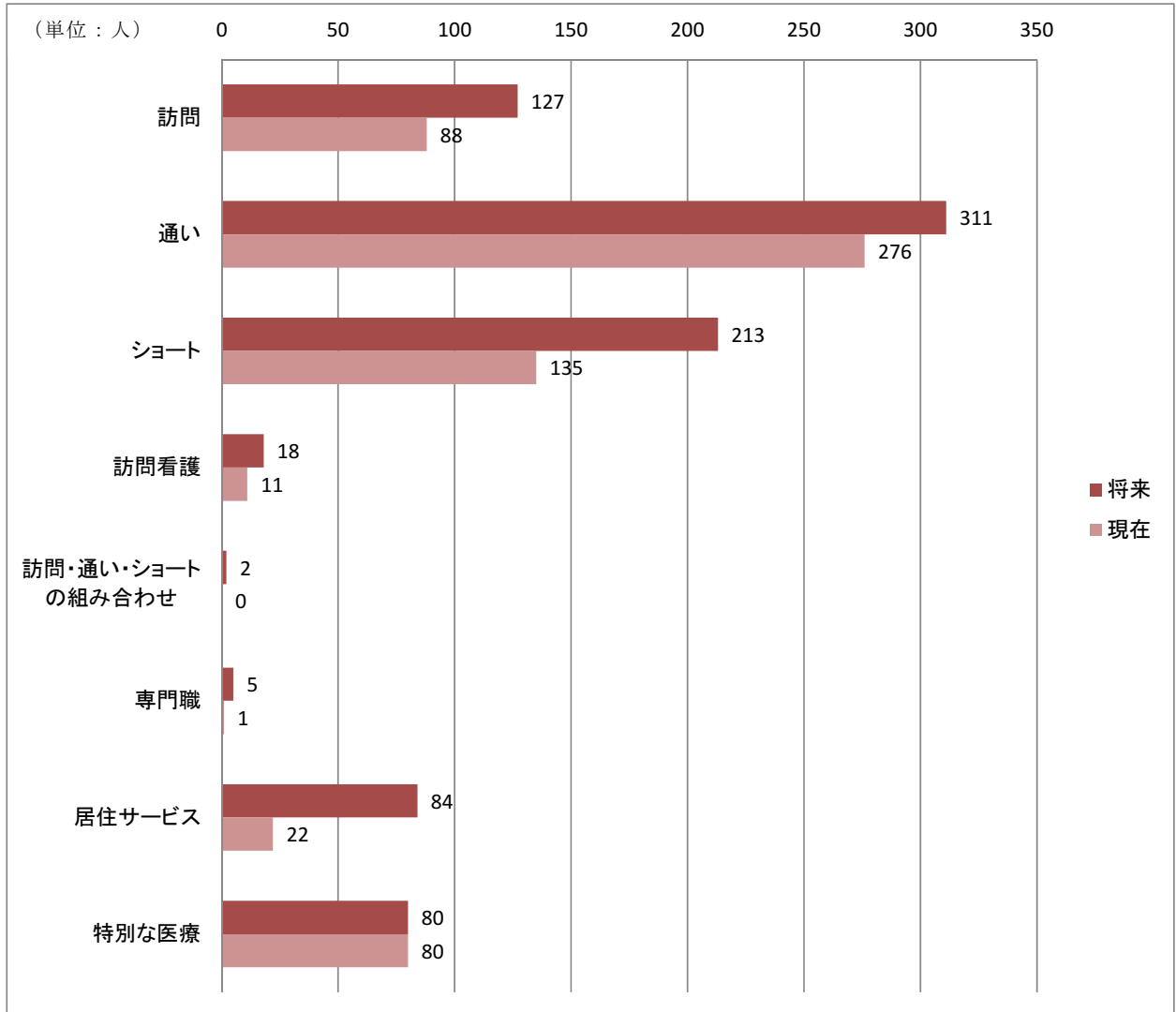
図表2-47 「和島」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



### 13. 寺泊

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が311人、「ショート」が213人、「訪問」が127人などとなっている。

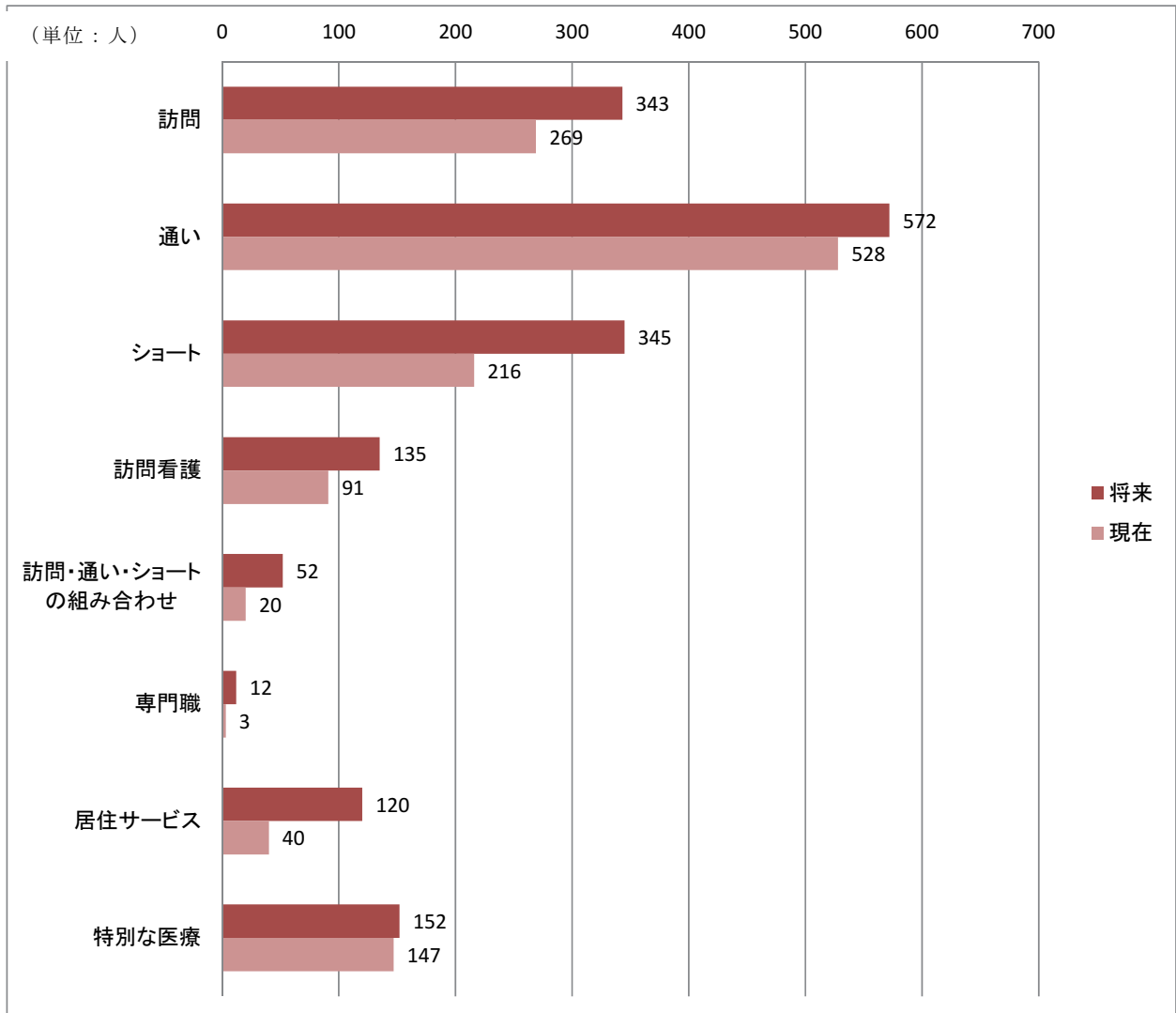
図表2-48 「寺泊」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



## 14. 栃尾

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が572人、「ショート」が345人、「訪問」が343人などとなっている。

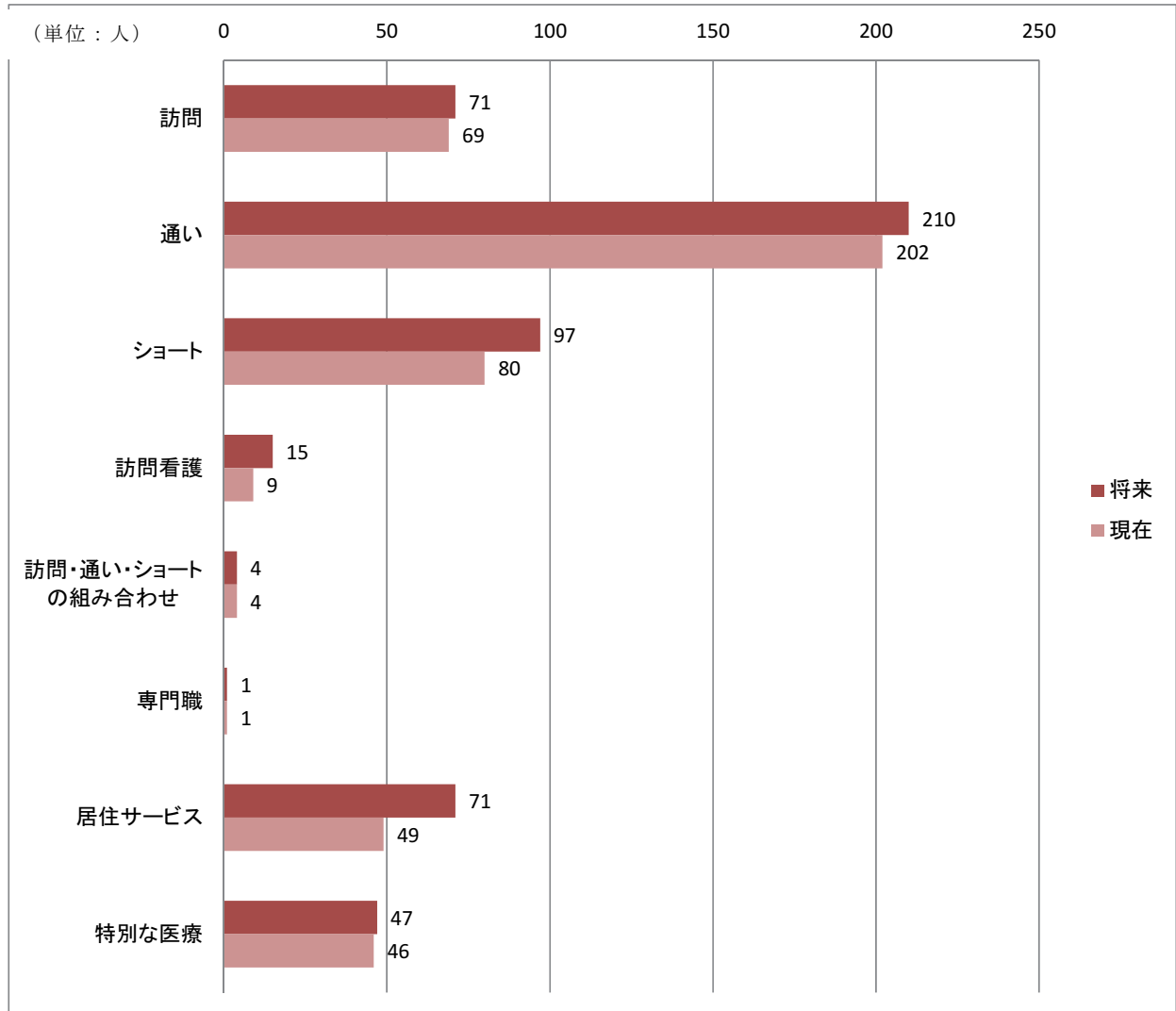
図表2-49 「栃尾」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



## 15. 与板

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が210人、「ショート」が97人、「訪問」「居住サービス」が71人などとなっている。

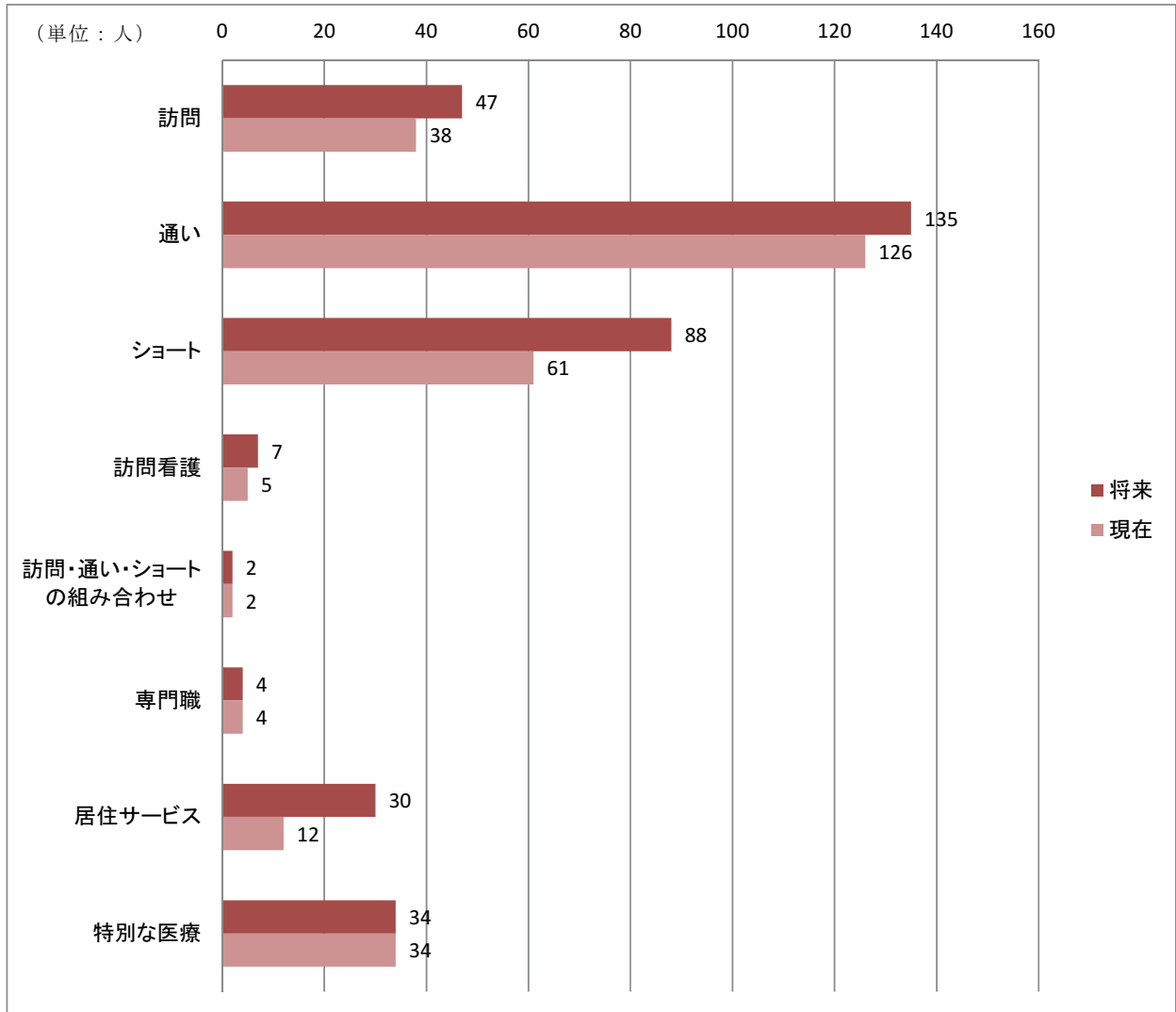
図表2-50 「与板」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）



## 16. 川口

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「通い」が135人、「ショート」が88人、「訪問」が47人などとなっている。

図表2-51 「川口」における介護・医療サービスのニーズ（8分類）





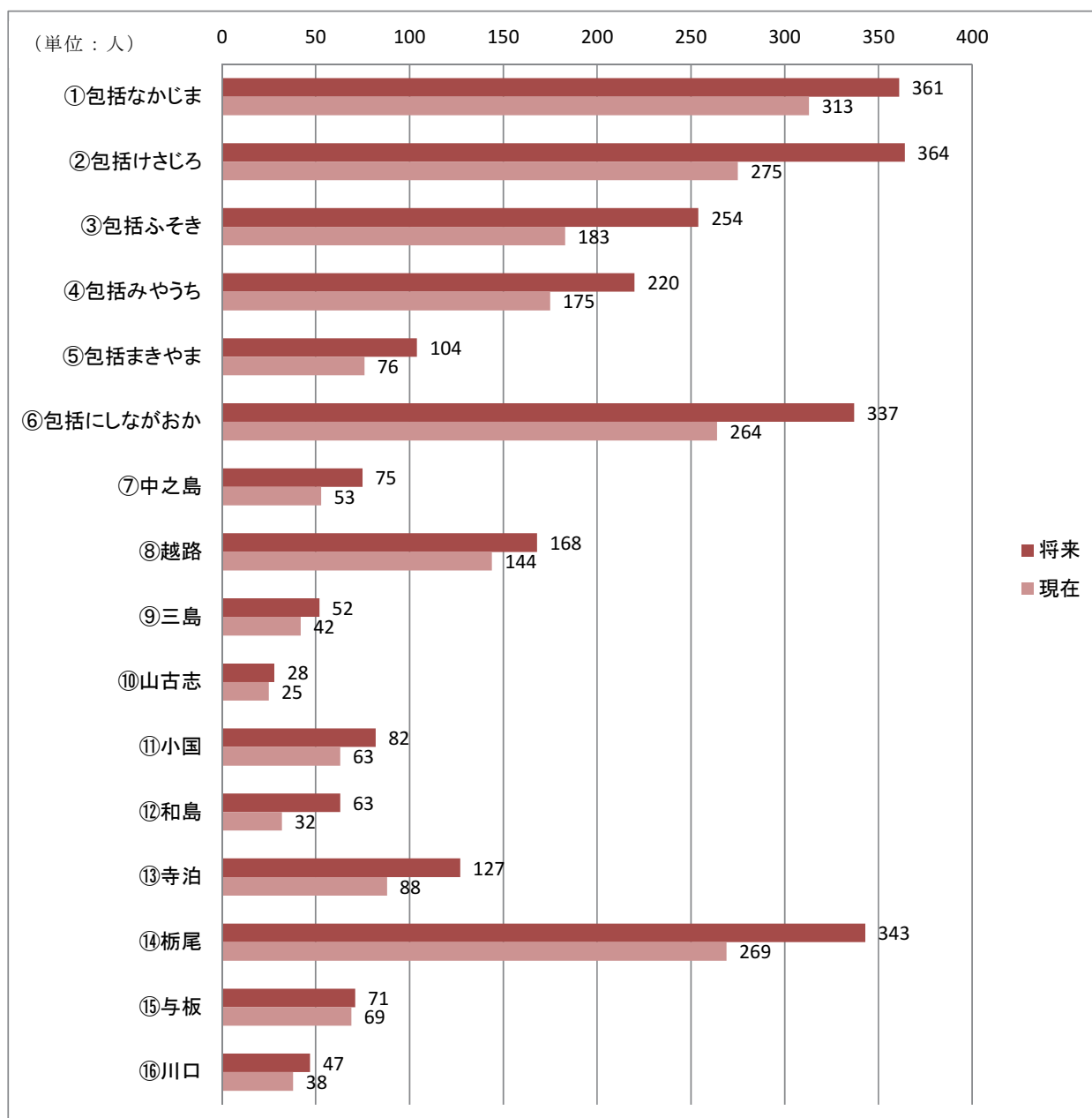
#### ④ 8 分類別の地域別の状況

8 分類のサービスについて包括エリア別にみると以下のとおりである。

##### 1. 訪問サービス

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「包括けさじろ」が 364 人、「包括なかじま」が 361 人、「栃尾」が 343 人、「包括にしながおか」が 337 人などとなっている。

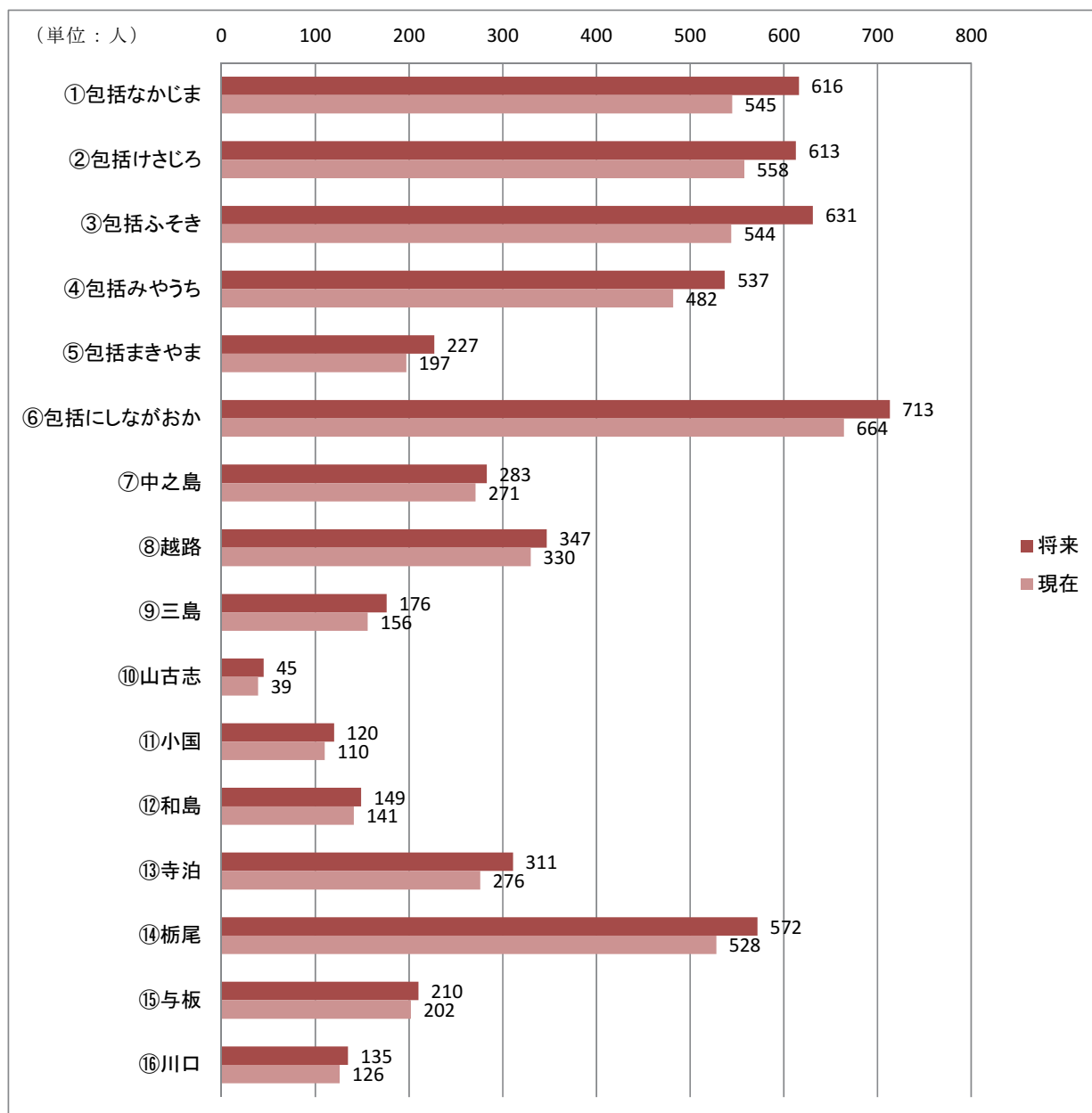
図表 2 - 5 2 「訪問サービス」の包括エリア別の状況



## 2. 通いサービス

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「包括にしながおか」が713人、「包括ふそき」が631人、「包括なかじま」が616人、「包括けさじろ」が613人などとなっている。

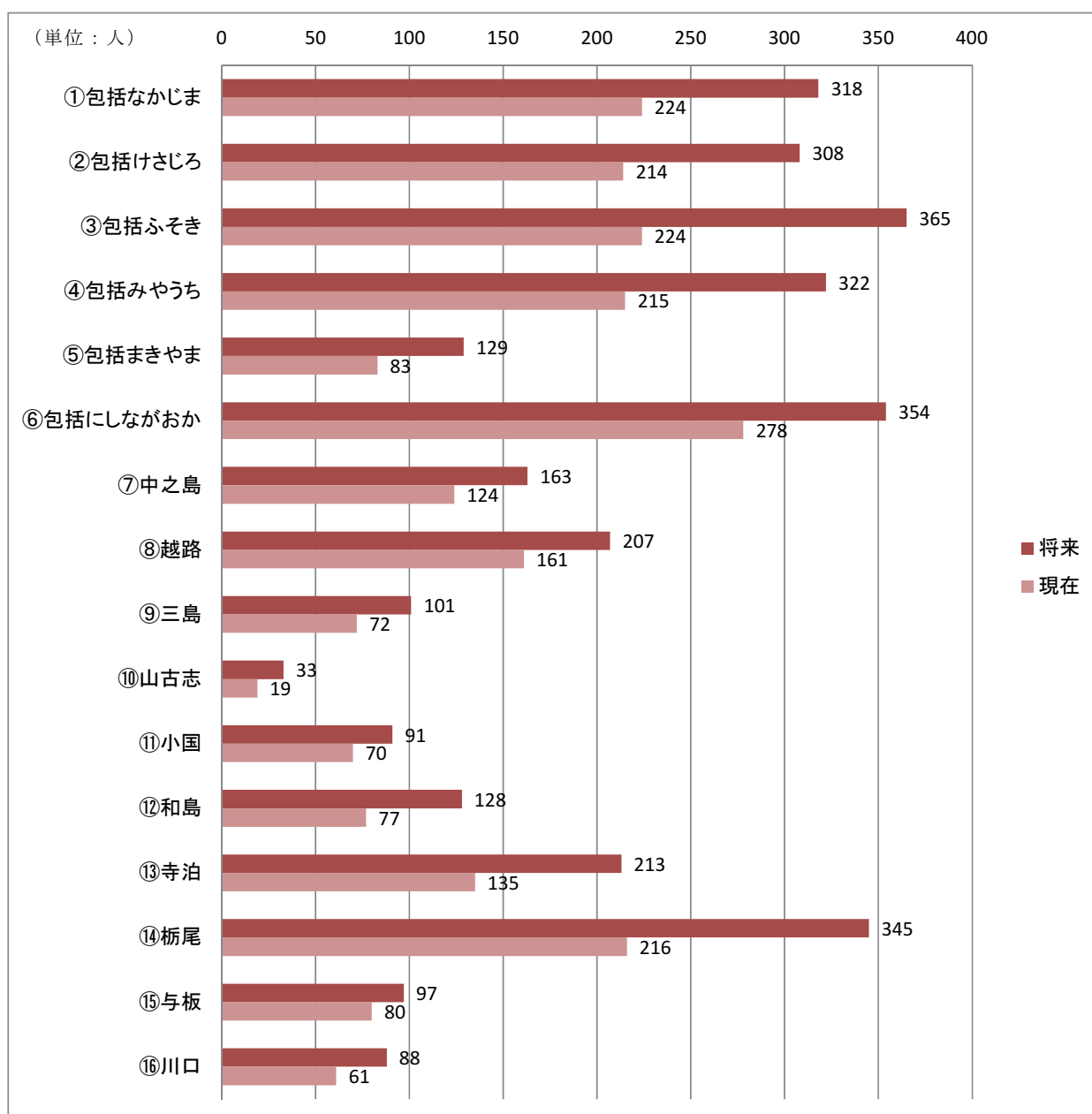
図表 2-53 「通いサービス」の包括エリア別の状況



### 3. ショートサービス

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「包括ふそき」が 365 人、「包括にしながおか」が 354 人、「栃尾」が 345 人、「包括みやうち」が 322 人、「包括なかじま」が 318 人などとなっている。

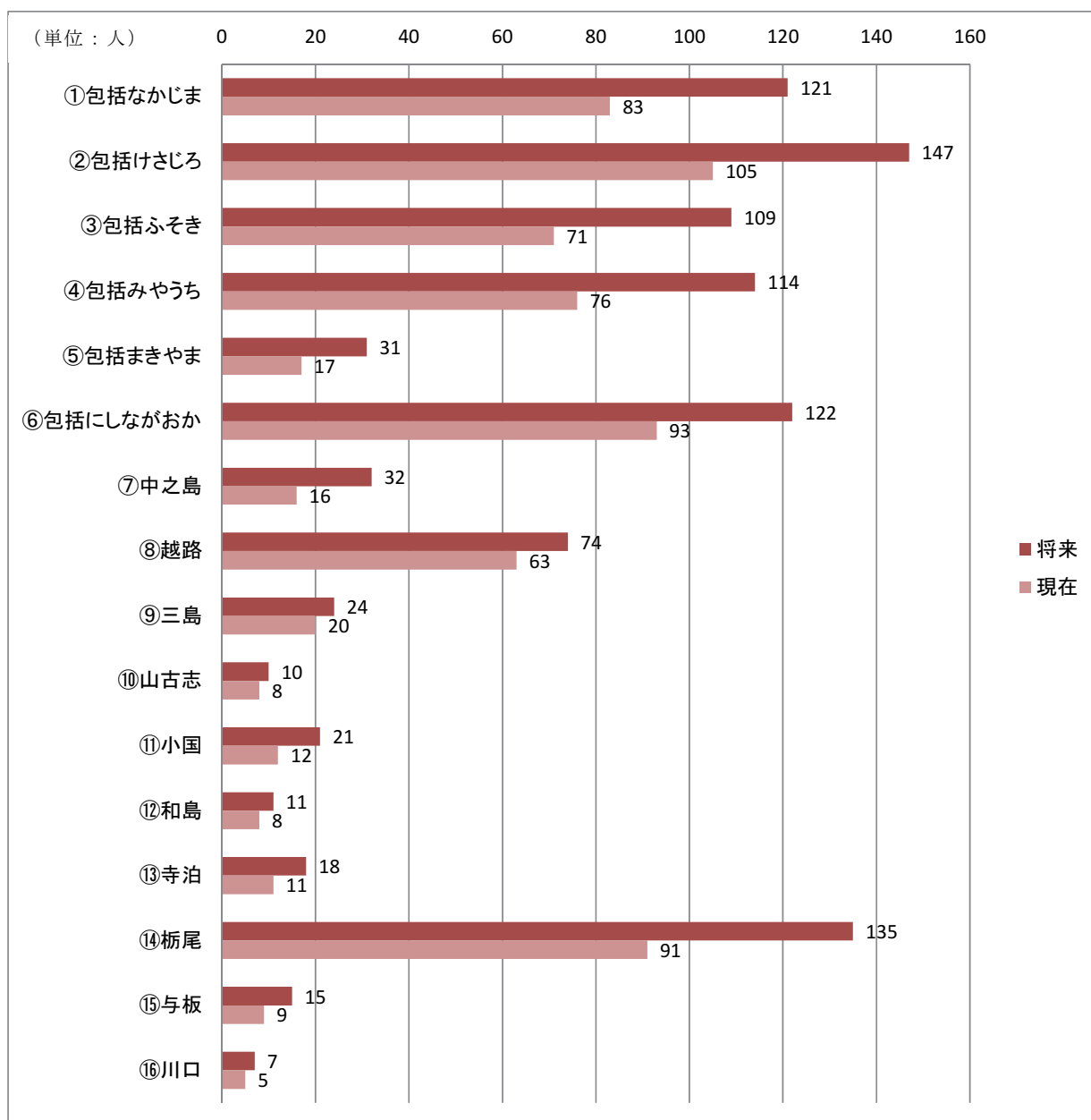
図表 2-54 「ショートサービス」の包括エリア別の状況



#### 4. 訪問看護

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「包括けさじろ」が147人、「栃尾」が135人、「包括にしがおか」が122人、「包括なかじま」が121人などとなっている。

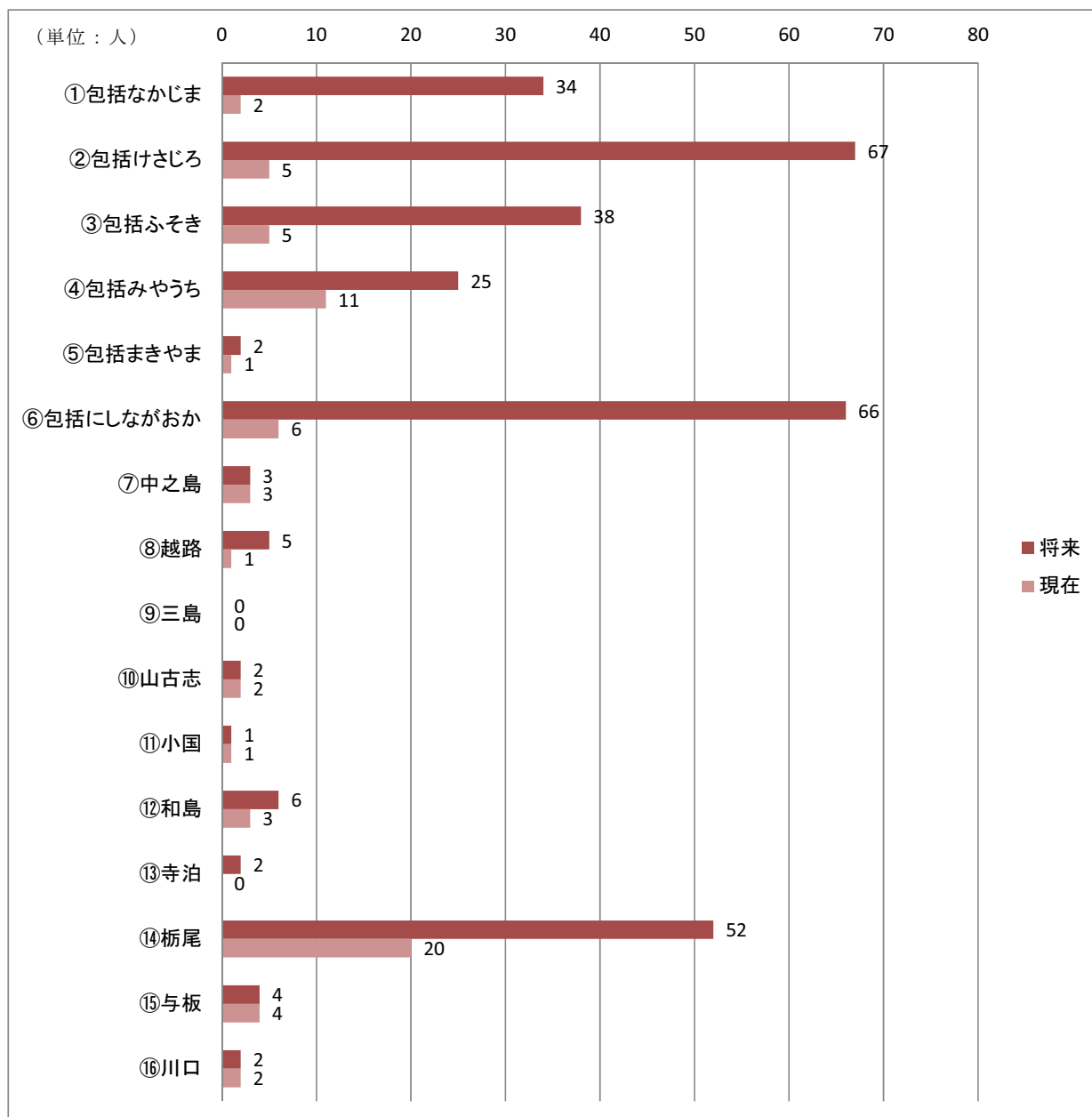
図表2-55 「訪問看護」の包括エリア別の状況



## 5. 訪問・通い・ショートのリ組み合わせ

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「包括けさじろ」が67人、「包括にしながおか」が66人、「栃尾」が52人などとなっている。

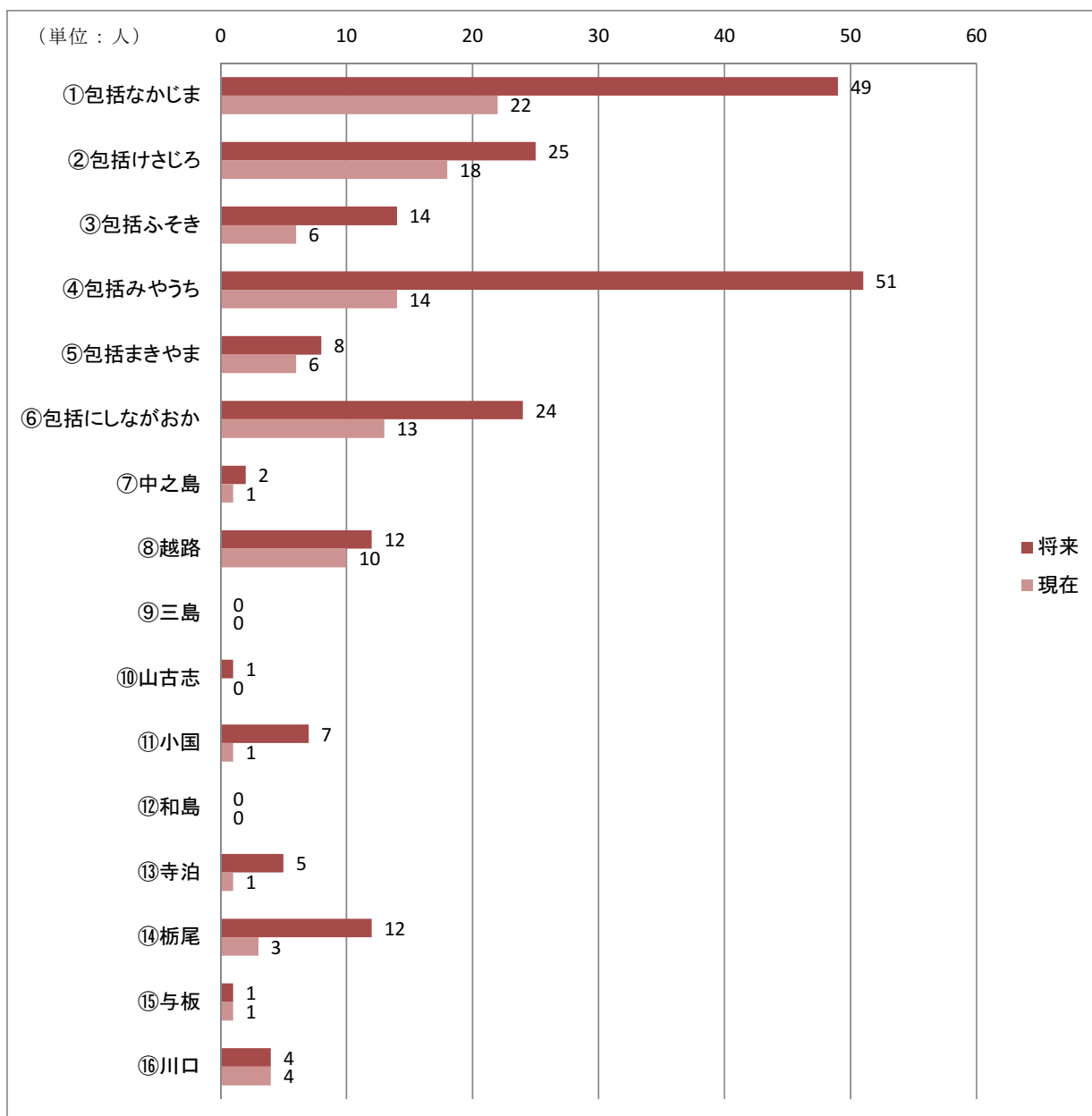
図表2-56 「訪問・通い・ショートのリ組み合わせ」の包括エリア別の状況



## 6. 専門職

理学療法士、作業療法士、薬剤師、歯科衛生士等の専門職がかかわるサービスについて、「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「包括みやうち」が51人、「包括なかじま」が49人、「包括けさじろ」が25人などとなっている。

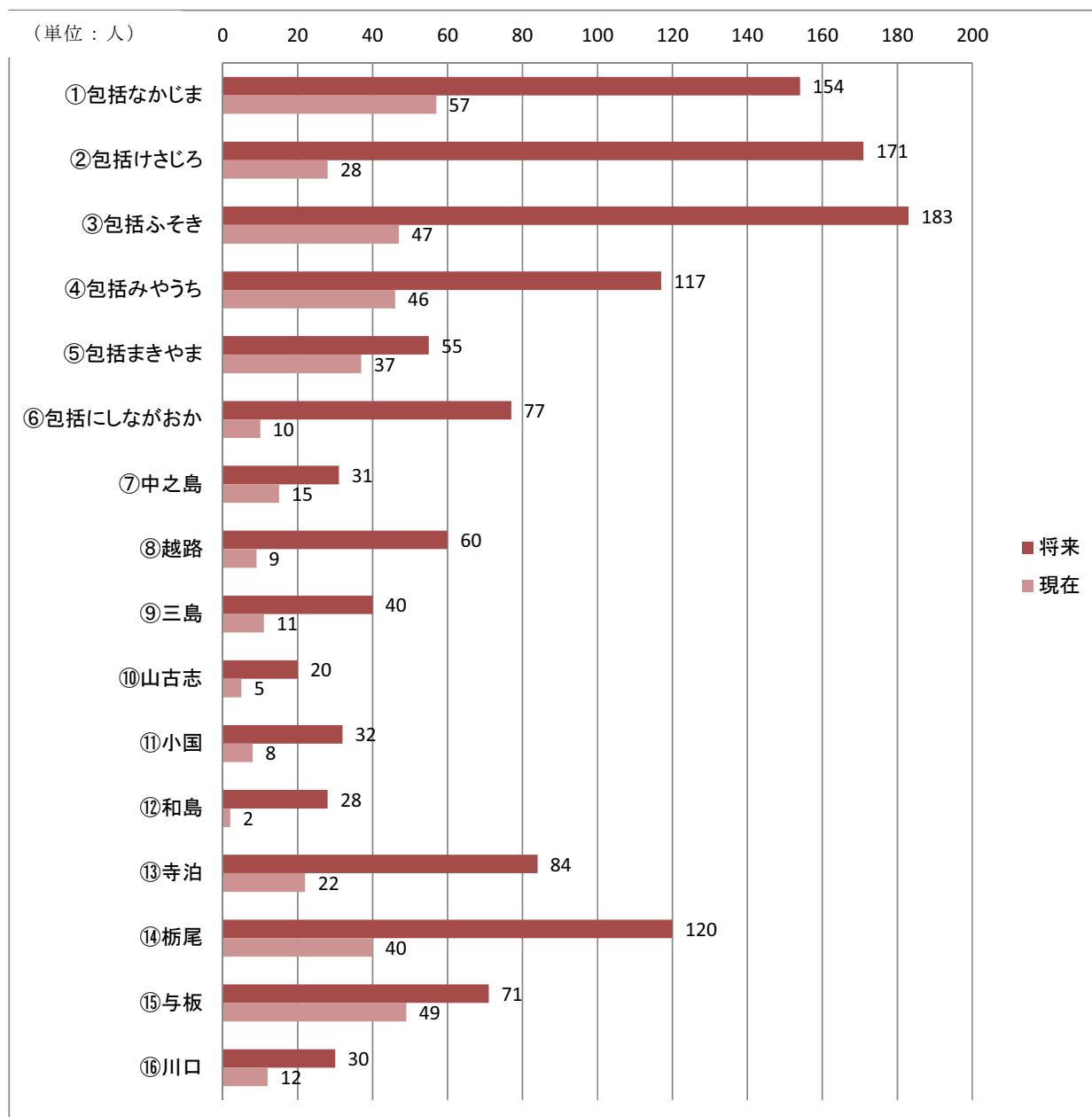
図表2-57 「専門職」の包括エリア別の状況



## 7. 居住サービス

「認知症グループホーム」と「その他の居住系施設サービス」の居住サービスについて、「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「包括ふそき」が183人、「包括けさじろ」が171人、「包括なかじま」が154人などとなっている。

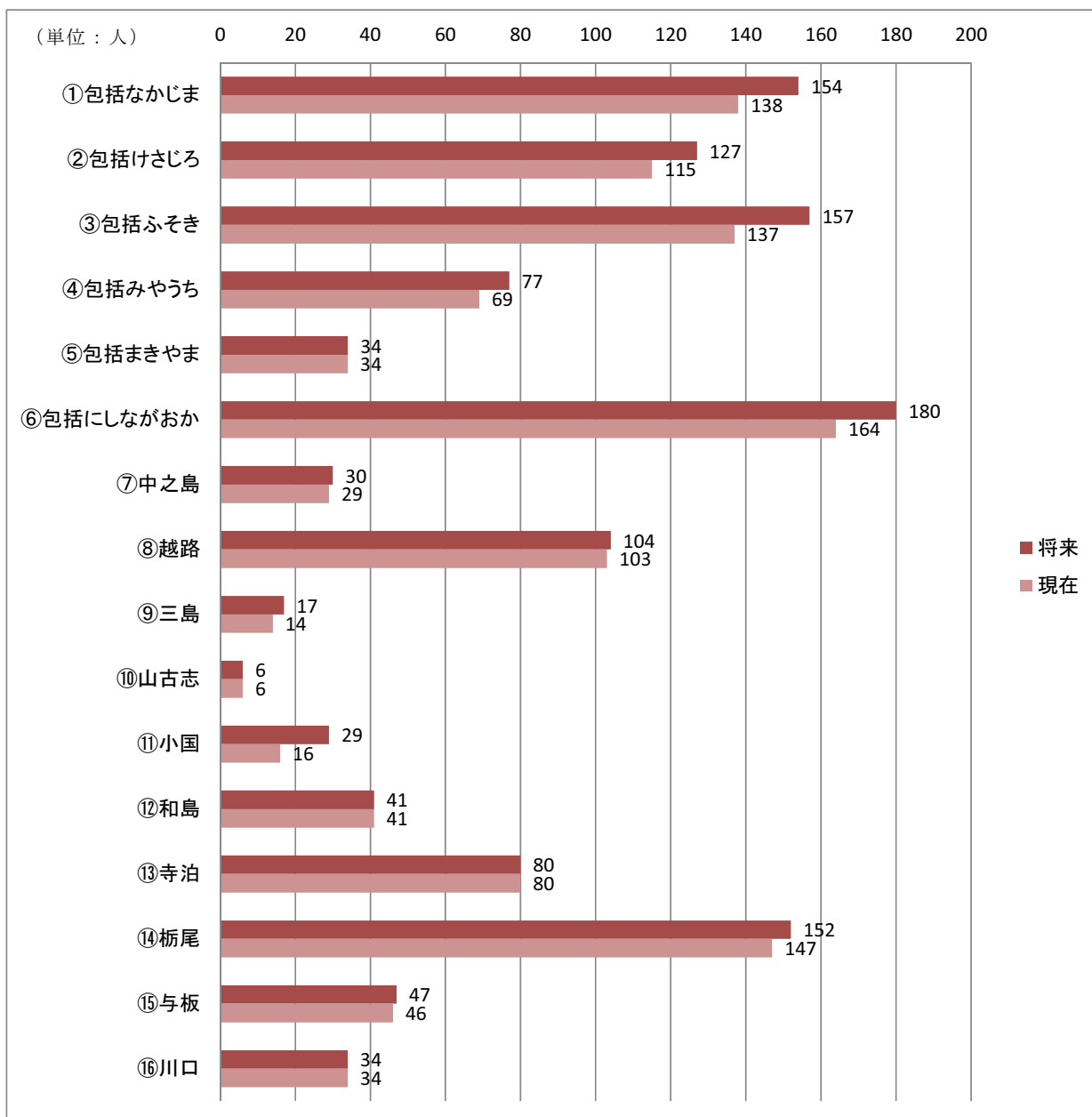
図表2-58 「居住サービス」の包括エリア別の状況



## 8. 特別な医療

「将来」の需要が多いと考えられる順にみると、「包括にしながおか」が180人、「包括ふそき」が157人、「包括なかじま」が154人などとなっている。

図表 2-59 「特別な医療」の包括エリア別の状況





### 3 歯科医師向けアンケート調査

#### (1) アンケート調査方法

【調査対象】 長岡市内に立地する歯科診療機関（全 123 件）

【調査時期】 平成 26 年 9 月 5 日発送、10 月 30 日まで回収

【調査方法】 郵送による配布・回収

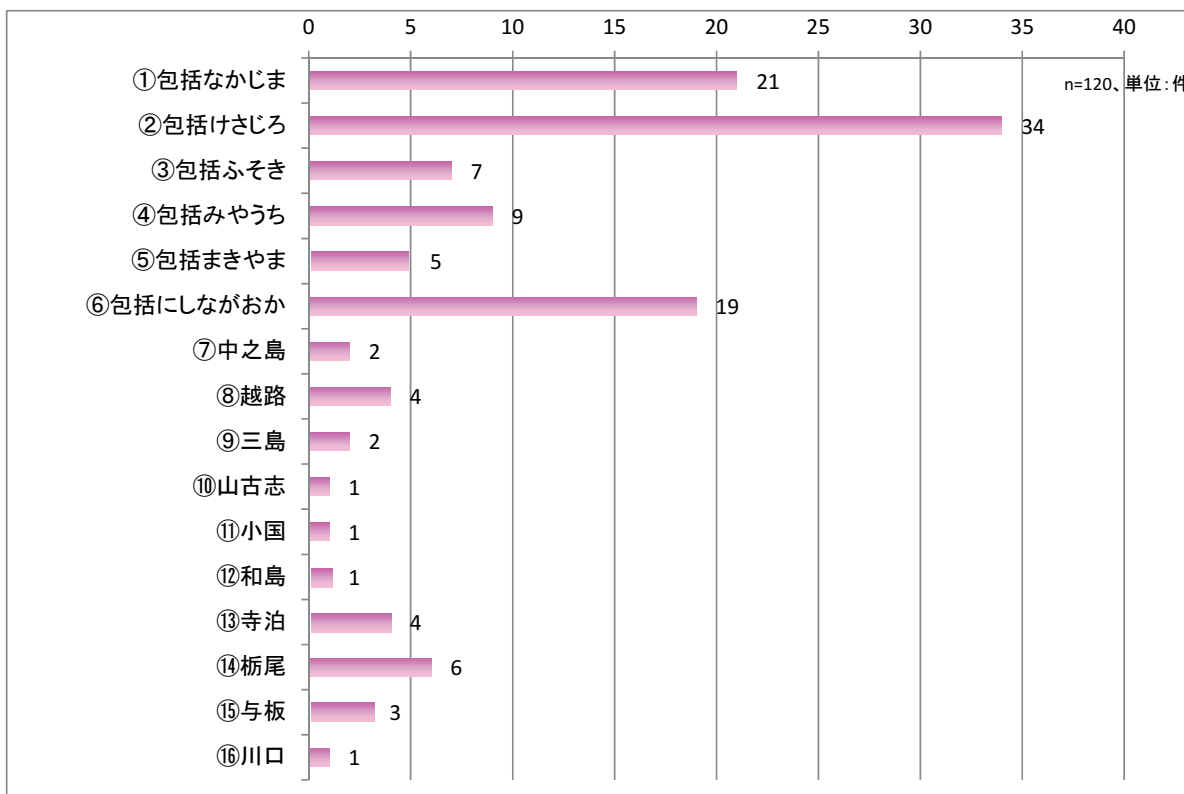
【調査項目】

1. 在宅歯科診療（往診又は訪問診療）の実施状況	
2. 在宅歯科診療を受けている患者について	・ 患者数 ・ 患者の居住地域
3. 1 か月間に対応可能な在宅歯科診療の回数	
4. 連携先	・ 病院・診療所
5. 在宅歯科診療を始める際の障壁	
6. 在宅歯科診療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組	
7. 在宅歯科診療に対する行政の支援等についての意見	

【回収機関数】 有効回答 121 機関（回収率 98.4%）

回答のあった歯科診療機関 121 件（地域不明 1 件）について、地域別の分布状況を見ると、「包括けさじろ」が 34 件で最も多く、「包括なかじま」が 21 件、「包括にしながおか」が 19 件、「包括みやうち」9 件、「包括ふそき」7 件などの順となっている。

図表 2-60 回答歯科診療機関の地域別分布状況



**(2) アンケート調査票**

地域包括ケアシステム構築に向けた地域資源・ニーズ等に関する調査

— 歯科医師向け調査票 —

医療機関名			
所在地			
ご記入担当者		連絡先電話番号	

問 1. 貴病院・診療所では在宅歯科診療（往診又は訪問診療）を行っていますか（○印はひとつ）。

1. 行っている （今は患者がいない場合も含む）	2. 行っていないが 今後行う予定	3. 行っていない （今後行う予定はない）
-----------------------------	----------------------	--------------------------

問 2. 貴病院・診療所で、在宅歯科診療を提供されている患者についてご記入下さい。

① 現在、在宅歯科診療を提供されている患者数を、個人宅及び施設別にご記入下さい。

個人宅	人
施設	人

② 現在、在宅歯科診療を提供された患者がお住まいの地域の該当する番号すべてに○印をお付け下さい

（地域包括支援センターの管轄地域は添付資料をご参照下さい）。

1. 包括なかじま	4. 包括みやうち	7. 中之島	10. 山古志	13. 栃尾	16. 川口
2. 包括けさじろ	5. 包括まきやま	8. 越路	11. 小国	14. 寺泊	17. その他
3. 包括ふそき	6. 包括にしがおか	9. 三島	12. 和島	15. 与板	( )

問 3. 貴病院・診療所において、現体制のままで1か月間に対応可能な在宅歯科診療の回数はおおよそ何回くらいですか。

おおよそ 回
-----------

問 4. 在宅歯科診療を始める際の障壁は何だと思われますか（○はいくつでも）

1. 歯科医師や歯科衛生士の数の不足 2. 夜間、休日の対応が困難 3. 通常外来が混みすぎているため 4. バックアップ病院がない 5. 在宅医療、往診、訪問診療を引き受けてくれる診療所がない 6. 歯科医師の高齢化 7. 家族の介護力・経済力、家族へのバックアップ不足 8. 在宅医療・看護に充てる時間がとれない 9. 歯科医師・歯科衛生士の体力 10. 訪問診療時、外来診療ができない 11. その他 ( )
---

問 5. 在宅歯科診療を実施するに当たって、どの病院・診療所や事業所・施設と連携してされましたか。名称をすべてご記入下さい。

病院・歯科診療所名	
-----------	--

問 6. 在宅歯科診療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組に○をお付け下さい(○はいくつでも)。

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 連携先を探しやすくする(連携先を紹介してくれる連携拠点機関の設置)</li><li>2. 往診の夜間・休日対応を、多数の診療所間で当番制にして受け持つ</li><li>3. 診療所の歯科医師が病気や研修参加のため不在になった時、数日間(1週間から1ヶ月程度)、診療を代行する歯科医師を総合病院から派遣してもらえる体制</li><li>4. 在宅患者の重症度で訪問診療特化型診療所と一般診療所が機能分担</li><li>5. 訪問診療経験豊かな歯科医師との相談・支援関係の構築</li><li>6. 中学校区単位(若しくは区単位)で多職種との情報交換・顔合わせができる場の設置</li><li>7. 情報共有ソフト等を使ったITツールの活用</li><li>8. 医療制度や在宅医療に関する市民教育</li><li>9. その他(具体的に )</li></ol>
---

問 7. 在宅歯科診療に対する行政の支援等について、ご意見をご記入下さい。

--

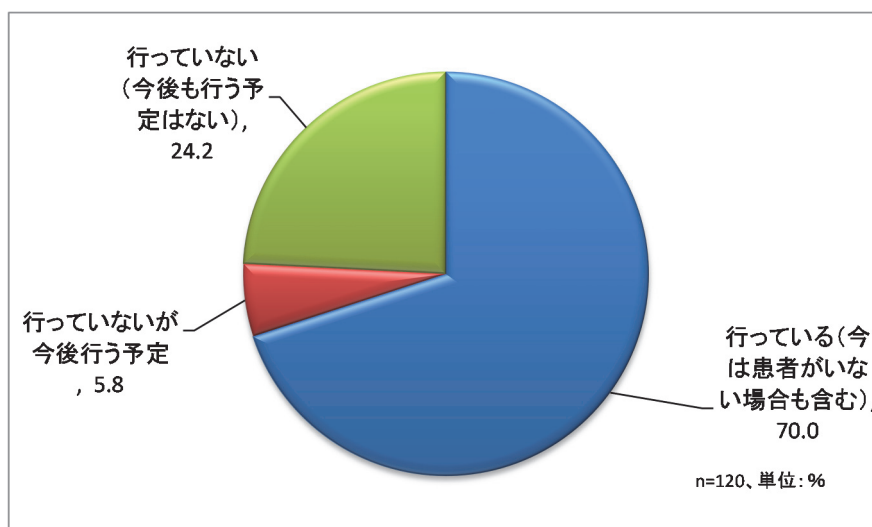
### (3) アンケート調査結果

#### ①在宅歯科診療（往診又は訪問診療）の取組状況

在宅診療を「行っている（今は患者がいない場合も含む）」が70.0%を占め、「行っていないが今後行う予定」の5.8%と合わせると、4分の3超が在宅歯科診療に積極的であることが分かる。

歯科診療機関の所在地域別にみると、図表2-62のとおりである。

図表2-61 在宅歯科診療の取組状況



図表2-62 在宅歯科診療の取組状況（地域別）

	行っている(今は患者がいない場合も含む)	行っていないが今後行う予定	行っていない(今後行う予定はない)	全体
①包括なかじま	15	1	5	21
②包括けさじろ	22	1	10	33
③包括ふそき	6	0	1	7
④包括みやうち	4	4	1	9
⑤包括まきやま	3	0	2	5
⑥包括にしながおか	12	1	6	19
⑦中之島	2	0	0	2
⑧越路	4	0	0	4
⑨三島	2	0	0	2
⑩山古志	1	0	0	1
⑪小国	1	0	0	1
⑫和島	1	0	0	1
⑬寺泊	3	0	1	4
⑭栃尾	5	0	1	6
⑮与板	3	0	0	3
⑯川口	0	0	1	1
合計	84	7	28	119

単位：件

## ②在宅歯科診療提供患者数

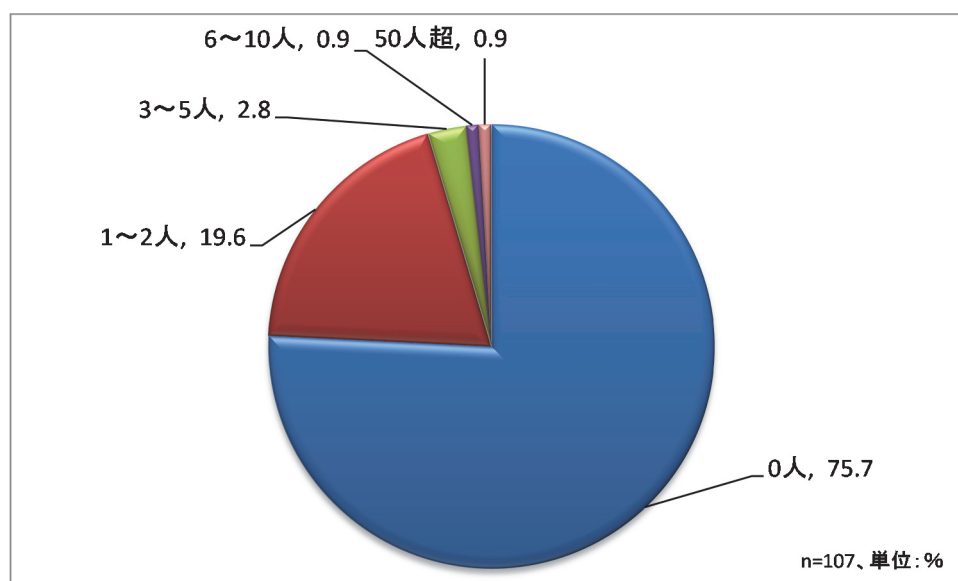
### 1. 個人宅への在宅歯科診療提供患者数

現在、個人宅の患者について、平成26年8月に何人に在宅歯科診療を行っているか質問したところ、「0人」が75.7%を占めているが、これは「在宅歯科診療を行っているが、今は患者がいない場合」が含まれていることによると考えられる。

その他「1～2人」が19.6%、「3人～5人」が2.8%などとなっており、「50人超」という機関が0.9%（1件）あった。

これを歯科診療機関の所在地域別にみると、図表2-64のとおりである。

図表2-63 在宅歯科診療提供個人宅



図表2-64 在宅歯科診療提供個人宅（全体、地域別）

	0	1～2人	3～5人	6～10人	11～15人	16～30人	31～50人	50人超	全体
①包括なかじま	13	3	0	0	0	0	0	0	16
②包括けさじろ	24	6	1	1	0	0	0	0	32
③包括ふそき	5	0	1	0	0	0	0	0	6
④包括みやうち	6	1	1	0	0	0	0	0	8
⑤包括まきやま	5	0	0	0	0	0	0	0	5
⑥包括にしながおか	14	2	0	0	0	0	0	0	16
⑦中之島	1	1	0	0	0	0	0	0	2
⑧越路	0	3	0	0	0	0	0	1	4
⑨三島	1	1	0	0	0	0	0	0	2
⑩山古志	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑪小国	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑫和島	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑬寺泊	2	2	0	0	0	0	0	0	4
⑭栃尾	3	2	0	0	0	0	0	0	5
⑮与板	3	0	0	0	0	0	0	0	3
⑯川口	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	81	21	3	1	0	0	0	1	107

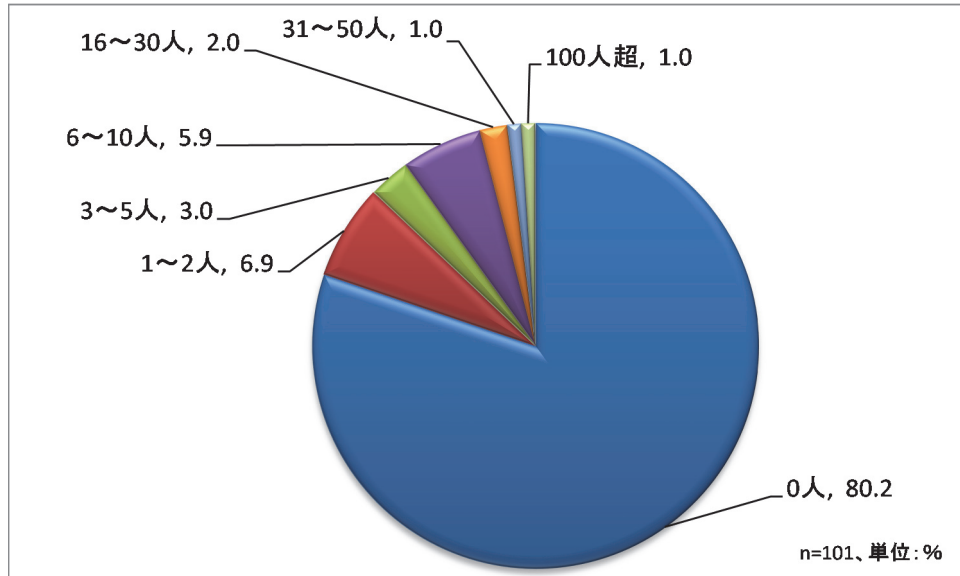
単位：件

## 2. 施設への在宅歯科診療提供患者数

現在、施設の患者について、平成26年8月に何人に在宅歯科診療を行っているか質問したところ、「0人」が80.2%を占めているが、これには1と同様、「在宅歯科診療を行っているが、今は患者がいない場合」も多く含まれている。その他「1～2人」が6.9%、「6人～10人」が5.9%などとなっている。

これを歯科診療機関の所在地域別にみると、図表2-66のとおりである。

図表2-65 施設への在宅歯科診療提供先患者数



図表2-66 在宅歯科診療提供施設（地域別）

	0	1～2人	3～5人	6～10人	11～15人	16～30人	31～50人	51～100人	100人超	全体
①包括なかじま	13	2	0	1	0	0	0	0	0	16
②包括けさじろ	25	1	2	0	0	0	0	1	0	29
③包括ふそき	5	0	0	1	0	0	0	0	0	6
④包括みやうち	6	0	0	1	0	0	0	0	0	7
⑤包括まきやま	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
⑥包括にしながおか	12	1	1	0	0	1	0	0	0	15
⑦中之島	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
⑧越路	0	1	0	1	0	1	0	0	1	4
⑨三島	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
⑩山古志	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
⑪小国	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
⑫和島	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
⑬寺泊	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
⑭栃尾	4	0	0	1	0	0	0	0	0	5
⑮与板	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
⑯川口	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	81	7	3	6	0	2	1	0	1	101

単位：件

### 3. 在宅歯科診療患者の居住地域

在宅歯科診療を行った患者が住んでいる地域をみると、「包括にしながおか」が8件の歯科診療機関で最も多く、「包括なかじま」が7件、「包括けさじろ」と「包括みやうち」が6件ずつなどの順となっている。

図表2-67 在宅歯科診療患者の居住地域

No.	地域	件数	無回答を除く (%)
1	①包括なかじま	7	14.6
2	②包括けさじろ	6	12.5
3	③包括ふそき	3	6.3
4	④包括みやうち	6	12.5
5	⑤包括まきやま	3	6.3
6	⑥包括にしながおか	8	16.7
7	⑦中之島	3	6.3
8	⑧越路	3	6.3
9	⑨三島	3	6.3
10	⑩山古志	1	2.1
11	⑪小国	0	0.0
12	⑫和島	2	4.2
13	⑬寺泊	4	8.3
14	⑭栃尾	3	6.3
15	⑮与板	3	6.3
16	⑯川口	0	0.0
17	市外	5	10.4
	N (% <sup>^</sup> -入)	48	100.0

さらに、歯科診療機関の所在地域別にみると、「包括なかじま」「包括けさじろ」「包括にしながおか」など旧長岡市内の歯科診療機関では、自地域以外に居住する患者に提供している例もみられる。

図表2-68 在宅歯科診療患者の居住地域（地域別）

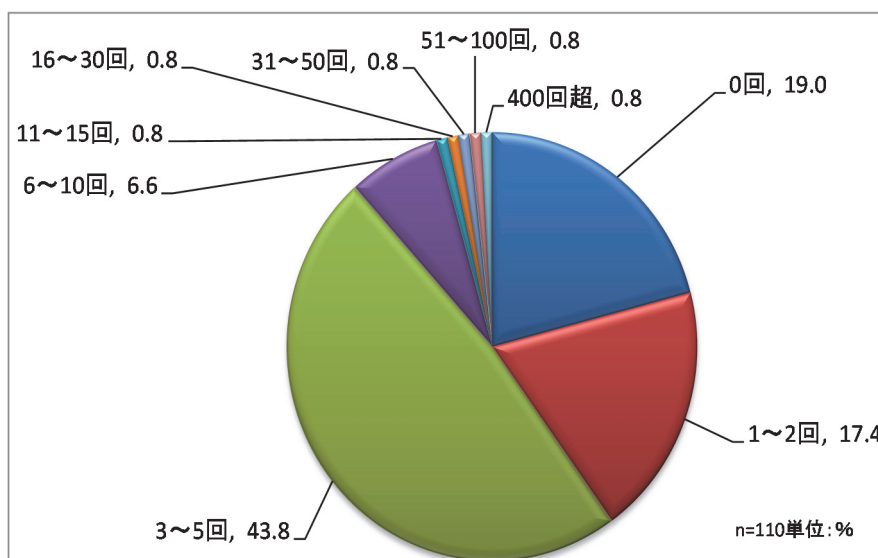
	①包括なかじま	②包括けさじろ	③包括ふそき	④包括みやうち	⑤包括まきやま	⑥包括にしながおか	⑦中之島	⑧越路	⑨三島	⑩山古志	⑪小国	⑫和島	⑬寺泊	⑭栃尾	⑮与板	⑯川口	市外
①包括なかじま	6	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
②包括けさじろ	1	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
③包括ふそき	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
④包括みやうち	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
⑤包括まきやま	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥包括にしながおか	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑦中之島	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧越路	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
⑭栃尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0
⑯川口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	6	3	6	3	8	3	3	3	1	0	2	4	3	3	0	5

単位：件

### ③現体制のままで1か月間に対応可能な在宅歯科診療回数

現体制のままで1か月間に対応可能な在宅歯科診療回数は、「3～5回」が43.8%で最も多く、「0回（対応できない）」が19.0%、「1～2回」が17.4%などとなっている。

図表2-69 現体制のままで1か月間に対応可能な在宅歯科診療回数



これを歯科診療機関の所在地域別にみると、「包括なかじま」「包括けさじろ」では、「3～5回」が比較的多くなっている。

図表2-70 現体制のままで1か月間に対応可能な在宅歯科診療回数（地域別）

	0	1～2回	3～5回	6～10回	11～15回	16～30回	31～50回	51～100回	100回超	全体
①包括なかじま	2	4	10	1	0	0	0	0	0	17
②包括けさじろ	10	5	15	0	0	0	1	1	0	32
③包括ふそき	0	0	5	0	0	1	0	0	0	6
④包括みやうち	2	2	4	1	0	0	0	0	0	9
⑤包括まきやま	2	1	1	1	0	0	0	0	0	5
⑥包括にしながおか	5	4	6	2	0	0	0	0	0	17
⑦中之島	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
⑧越路	0	0	2	1	0	0	0	0	1	4
⑨三島	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
⑩山古志	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
⑪小国	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
⑫和島	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑬寺泊	1	0	2	0	1	0	0	0	0	4
⑭栃尾	1	3	2	0	0	0	0	0	0	6
⑮与板	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
⑯川口	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	23	21	53	8	1	1	1	1	0	110

※黄色の網掛けは、比較的大きな数値（以下同じ）。

単位：件

### ④連携してきた病院・診療所や事業所・施設

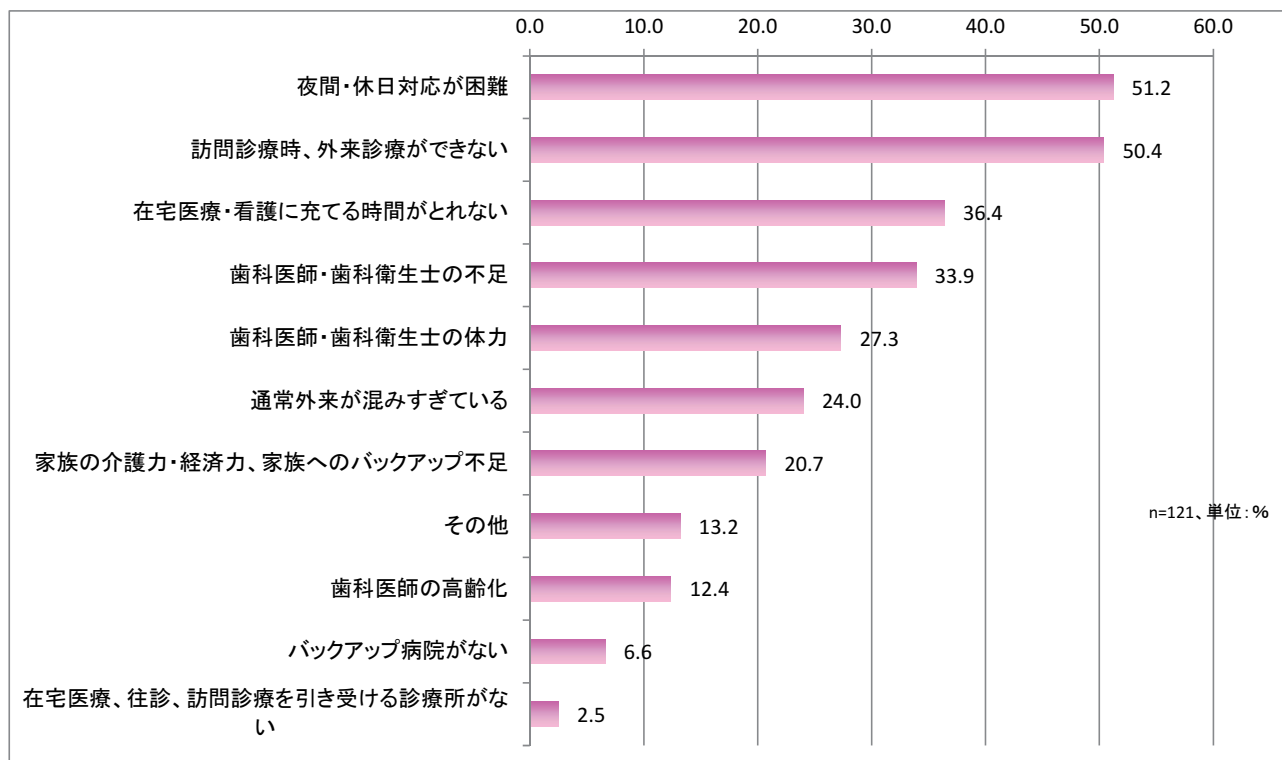
これまでに連携してきた病院・診療所として自由記述を求めたところ、複数の歯科診療機関から挙げられていたのは、「長岡赤十字病院」が12件、「長岡西病院」が4件、「立川総合病院」が3件、「生協かんだ診療所」と「桃李園」が2件ずつなどとなっている。



### ⑤在宅歯科診療を始める際の障壁

在宅歯科診療を始める際の障壁としては、「夜間、休日の対応が困難」が51.2%で最も多く、「訪問診療時、外来診療ができない」が50.4%、「在宅医療・看護に充てる時間がとれない」が36.4%、「歯科医師・歯科衛生士の不足」が33.9%などの順となっている。

図表 2-71 在宅歯科診療を始める際の障壁



歯科診療機関の所在地域別にみると、図表 2-72 のとおりである。

図表 2-72 在宅歯科診療を始める際の障壁（地域別）

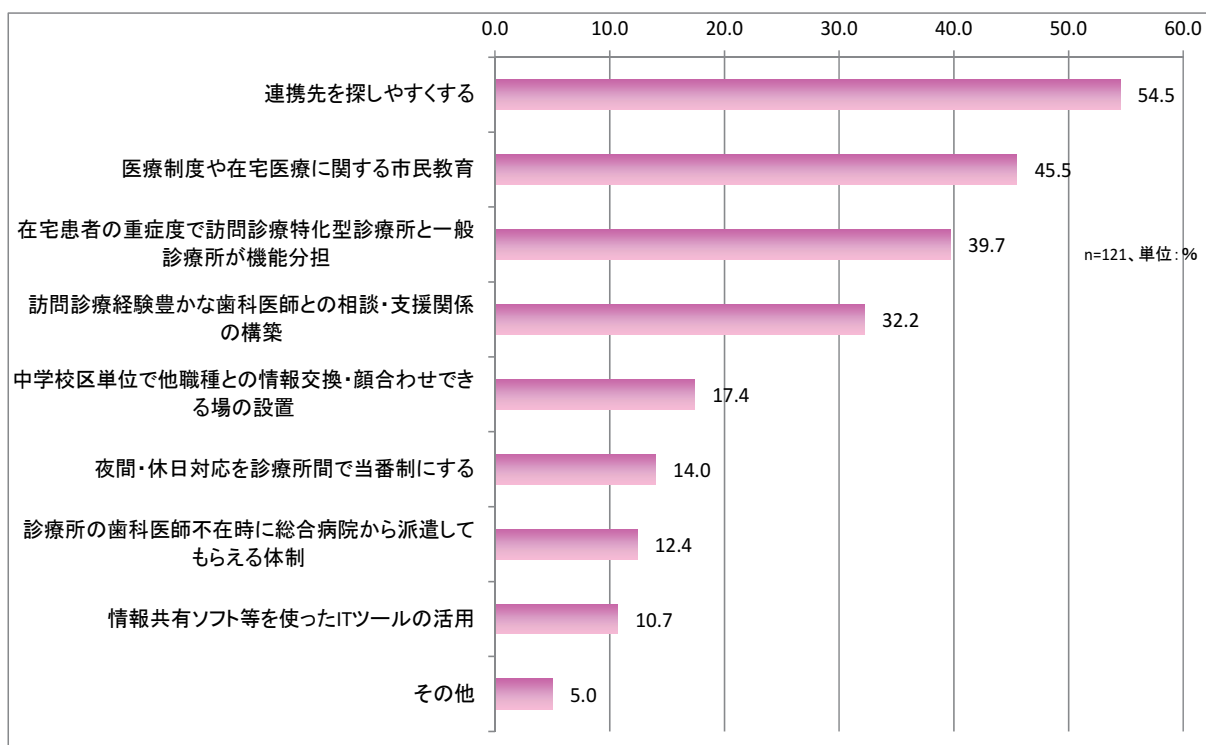
	歯科医師・歯科衛生士の不足	夜間・休日対応が困難	通常外来が混みすぎている	バックアップ病院がない	在宅医療、往診、訪問診療を引き受ける診療所がない	歯科医師の高齢化	家族の介護力・経済力、家族へのバックアップ不足	在宅医療・看護に充てる時間がとれない	歯科医師・歯科衛生士の体力	訪問診療時、外来診療ができない	その他
①包括なかじま	47.4	63.2	26.3	0.0	10.5	21.1	21.1	42.1	31.6	57.9	5.3
②包括けさじろ	32.3	51.6	29.0	6.5	0.0	16.1	22.6	35.5	35.5	48.4	16.1
③包括ふそき	42.9	28.6	14.3	28.6	0.0	28.6	42.9	14.3	28.6	42.9	28.6
④包括みやうち	55.6	55.6	44.4	11.1	11.1	0.0	33.3	55.6	22.2	66.7	11.1
⑤包括まきやま	60.0	80.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0	60.0	40.0
⑥包括にしながおか	31.6	63.2	21.1	0.0	0.0	10.5	21.1	47.4	21.1	68.4	5.3
⑦中之島	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
⑧越路	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0
⑨三島	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
⑩山古志	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑪小国	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
⑬寺泊	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	33.3
⑭栃尾	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0	50.0	16.7
⑮与板	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
⑯川口	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0

単位：%

### ⑥在宅歯科診療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組

在宅歯科診療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組としては、「連携先を探しやすくする」が 54.5%で最も多く、「医療制度や在宅医療に関する市民教育」が 45.5%、「在宅患者の重症度で訪問診療特化型診療所と一般診療所が機能分担」が 39.7%、「訪問診療経験豊かな歯科医師との相談・支援関係の構築」が 32.2%などの順となっている。

図表 2-73 在宅歯科診療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組



歯科診療機関の所在地域別にみると図表 2-74 のとおりである。

図表 2-74 在宅歯科診療の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組（地域別）

	連携先を探しやすくする	夜間・休日対応を診療所間で当番制にする	診療所の歯科医師不在時に総合病院から派遣してもらえる体制	在宅患者の重症度で訪問診療特化型診療所と一般診療所が機能分担	訪問診療経験豊かな歯科医師との相談・支援関係の構築	中学校区単位で他職種との情報交換・顔合わせできる場の設置	情報共有ソフト等を使ったITツールの活用	医療制度や在宅医療に関する市民教育	その他
① 包括なかじま	66.7	11.1	11.1	33.3	38.9	27.8	11.1	50.0	5.6
② 包括けさじろ	60.0	23.3	10.0	53.3	43.3	13.3	16.7	53.3	0.0
③ 包括ふそき	66.7	16.7	16.7	83.3	16.7	50.0	16.7	66.7	16.7
④ 包括みやうち	62.5	0.0	25.0	37.5	25.0	25.0	25.0	62.5	0.0
⑤ 包括まきやま	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0
⑥ 包括しながおか	83.3	27.8	5.6	50.0	44.4	16.7	11.1	50.0	5.6
⑦ 中之島	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0
⑧ 越路	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	50.0	0.0
⑨ 三島	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑩ 山古志	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
⑪ 小国	100	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫ 和島	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑬ 寺泊	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0
⑭ 栃尾	80.0	0.0	40.0	60.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0
⑮ 与板	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑯ 川口	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0

単位：%

### ⑦在宅歯科診療に対する行政の支援等に対する意見

在宅歯科診療に対する行政の支援等に対する自由意見をみると、在宅歯科診療に関しては、「市民に対する普及・啓発などの情報発信が重要」や「バックアップ体制の整備」「関連機関間の連携強化」などといった意見が多くなっている。  
具体的には、以下のような意見が寄せられた。

#### <教育・啓発の必要性について>

広報やCM等で市民へ啓発してほしい。
もっと歯科が在宅をしていることを市民にアピールしてほしい。
家族の理解・協力が、もっと欲しい。
介護する人の口腔ケアなどの健康教育が必要だ。
患者さんが在宅診療を受けられるという情報を知らないので、知らせることが必要だ。
今現在、在宅診療の要請はほぼ皆無で、患者家族や、ヘルパー介護士等への周知が必要だと思う。歯科医師によって、通常の診療日には忙しくて行けない人、行ける人など様々と思われる。歯科医師会と行政が連携し、在宅要請を比較的常時受けられる歯科医師を選抜し、紹介するようなシステム作りも必要だと思う。
在宅診療に関する相談窓口（歯科医師に対する）の確立、保険請求の仕方を指導してくれる窓口があること等が必要だ。

#### <機器の確保等について>

現在長岡歯科医師会には2台程度在宅歯科診療のための器械を備え、貸し出しているが常に順番待ちの状態である。行政として在宅歯科診療を推進するのであれば、市が在宅用の器械を確保し、貸し出す体制を構築できれば、より多くのニーズに答えることが可能となると思う。
交通費等の補助、往診器材の貸し出し、等があると良いと思う。
治療機器の貸与があると良いと思う。

#### <連携について>

システムを作ることは重要だが、実行に移すためにはきちんとした話し合いが必要になると思う。
行政、医師会、歯科医師会が、それぞれ求める支援等の具体的姿に、かなりのギャップが存在すると思われる。早急に『あるべき姿』の方策を打ち出すべきである。

#### <在宅歯科診療に対する行政からの支援の要望>

患者の情報がネットで見ることでできると助かる（パスワード、セキュリティの問題はあるが）。
在宅患者とのコーディネートを円滑にしてほしい。
面倒な手続きがなく診療を行なえると良いと思う。

## 4 保険薬局向けアンケート調査

### (1) アンケート調査方法

【調査対象】長岡市内に立地する保険薬局（全 110 件）

【調査時期】平成 26 年 9 月 11 日発送、10 月 29 日まで回収

【調査方法】郵送による配布・回収

【調査項目】

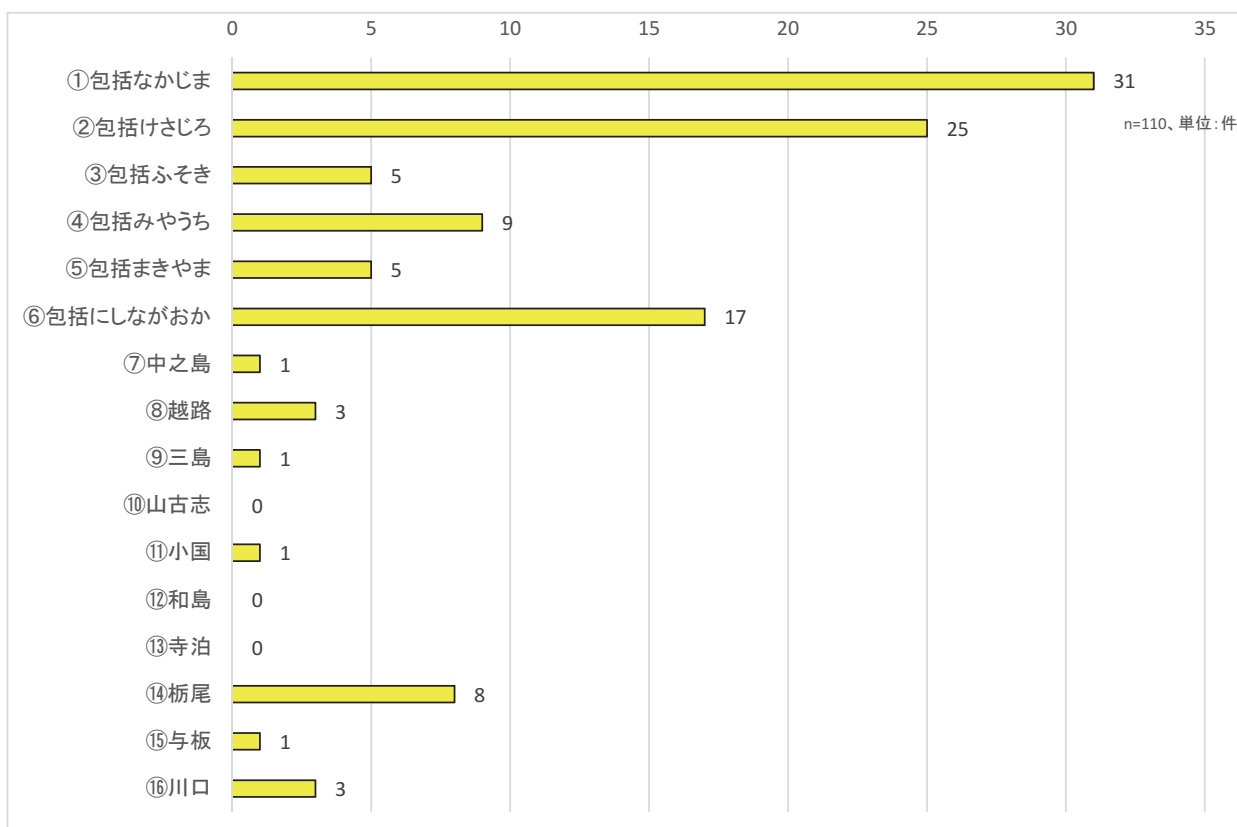
1. 居宅療養管理指導の実施状況
2. 居宅療養管理指導を提供している患者について
3. 現体制で居宅療養管理指導が対応可能な在宅患者数
4. 連携先
5. 居宅療養管理指導を始める際の課題
6. 居宅療養管理指導の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組
7. 居宅療養管理指導に対する行政の支援等についての意見

(詳細は次ページ調査票一参照)

【回収機関数】有効回答 110 機関（回収率 100%）

回答のあった保険薬局 110 件について、地域別の分布状況を見ると、「包括なかじま」が 31 件で最も多く、「包括けさじろ」が 25 件、「包括にしながおか」が 17 件、「包括みやうち」9 件などの順となっている。

図表 2-75 回答保険薬局の地域別分布状況



**(2) アンケート調査票**

**地域包括ケアシステム構築に向けた地域資源・ニーズ等に関する調査  
—保険薬局向け調査票—**

薬局名			
所在地・住所			
ご記入担当者		連絡先電話番号	

問1. 貴薬局では居宅療養管理指導を行っていますか（○印はひとつ）。

1. 行っている (今は患者がいない場合も含む)	2. 行っていないが 今後行う予定	3. 行っていない (今後も行う予定はない)
-----------------------------	----------------------	---------------------------

問2. (問1で「1. 行っている」を回答した方に伺います) 貴薬局で、居宅療養管理指導を提供されている患者についてご記入下さい。

① 平成26年8月現在で、居宅療養管理指導を提供されている個人宅及び施設別の患者数についてご記入下さい。

個人宅	名	施設	名
-----	---	----	---

② 提供されている居宅療養管理指導の内容について該当する番号すべてに○印をお付け下さい。

1. 薬効・用法・用量説明	7. ADLの確認
2. 服薬状況確認	8. QOLの確認
3. 薬剤管理の状況確認	9. 介護機器の保管状況確認
4. 他科受診・併用薬確認	10. 認知症の度合い確認
5. 副作用・相互作用確認	11. その他 ( )
6. 療養状況確認	

③ 平成26年8月現在で、居宅療養管理指導を提供されている患者がお住まいの地域の該当する番号すべてに○印をお付け下さい（地域包括支援センターの管轄地域は添付資料をご参照下さい）。

1. 包括なかじま	4. 包括みやうち	7. 中之島	10. 山古志	13. 栃尾	16. 川口
2. 包括けさじろ	5. 包括まきやま	8. 越路	11. 小国	14. 寺泊	17. その他
3. 包括ふそき	6. 包括しながおか	9. 三島	12. 和島	15. 与板	( )

④ 在宅での居宅療養管理指導には、1か所当たり1か月間におおよそどの程度の頻度で訪問していますか。

回/月
-----

問3. 現体制のままで1か月間に居宅療養管理指導が対応可能な在宅患者はおおよそ何名くらいですか。

おおよそ	名
------	---

問4. 在宅での居宅療養管理指導を実施するに当たって、どの病院・診療所や事業所・施設と連携してこれら  
ましたか。連携先の該当する番号に○印をお付け下さい。

病院・診療所	1. 県立精神医療センター 2. 立川総合病院 3. 田宮病院 4. 長岡中央総合病院 5. 長岡赤十字病院 6. 長岡西病院 7. 長岡保養園	8. 長岡療育園 9. 三島病院 10. 悠遊健康村病院 11. 吉田病院 12. 診療所ほか(機関名称をすべてご記入ください) ( )		
訪問看護ステーション	1. こぶし 訪問看護ステーション 2. たちかわ訪問看護ステーション 3. 長岡赤十字病院 4. 長岡中央訪問看護ステーション 5. 訪問看護ステーション こしじ 6. 訪問看護ステーション さんわ	7. 訪問看護ステーション すまいる 8. 訪問看護ステーション たんぼぼ 9. 訪問看護ステーション とちお 10. 訪問看護ステーション みつごうや 11. 吉田病院長岡訪問看護ステーション 12. その他 ( )		
地域包括支援センター	1. なかじま 2. けさじろ 3. ふそき	4. みやうち・やまこし 5. まきやま・みしま 6. にしながおか	7. なかのしま・よいた 8. こしじ・おくに 9. わしま・たらどまり	10. とちお 11. かわぐち 12. 他 ( )
介護サービス事業所など	ケアマネジャー、入浴サービスや介護用品レンタルなどの事業所など何か所くらい連携されていますか。 カ所くらい			

問5. 居宅療養管理指導を行う上での課題にはどのようなことがありますか (○はいくつでも)。

1. 主治医との連携の取り方 2. 病状の変化に応じた処方の変更 3. 患者本人の理解 4. 介助者がいない場合の正しい服薬 5. 一人薬剤師の時の対応 6. 夜間対応 7. 移動による時間ロス 8. その他 ( )
---

問6. 居宅療養管理指導の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組に○をお付け下さい  
(○はいくつでも)。

1. 連携先を探しやすくする(連携先を紹介してくれる連携拠点機関の設置) 2. 夜間・休日対応を、多数の薬局間で当番制にして受け持つ 3. カンファレンス(サービス担当者会議)への積極的な参加 4. 訪問診療経験豊かな医師との相談・支援関係の構築 5. 中学校区単位(若しくは区単位)で多職種との情報交換・顔合わせができる場の設置 6. 情報共有ソフト等を使ったITツールの活用 7. 医療制度や在宅医療に関する市民教育 8. その他 ( )
--

問7. 居宅療養管理指導に対する行政の支援等について、ご意見をご記入下さい。

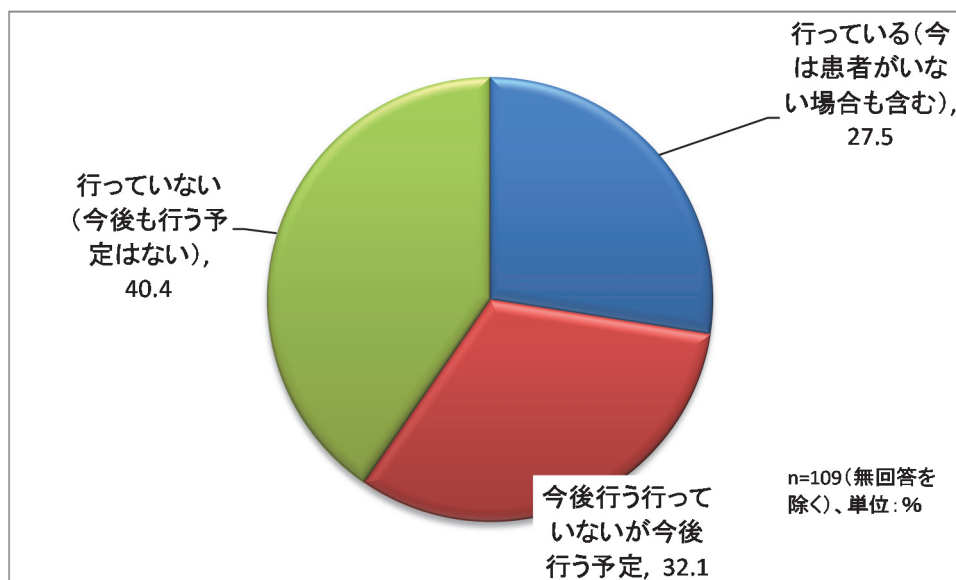
--

### (3) アンケート調査結果

#### ① 居宅療養管理指導の取組状況

居宅療養管理指導を「行っている（今は患者がいない場合も含む）」は 27.5%であるが、「行っていないが今後行う予定」が 32.1%あり、合わせると約 6 割の薬局が居宅療養管理指導に積極的なことが分かる。保険薬局の所在地域別にみると、図表 2-77 のとおりである。

図表 2-76 居宅療養管理指導の取組状況



図表 2-77 居宅療養管理指導の取組状況（地域別）

	行っている (今は患者 がいない 場合も含 む)	今後行う 行ってい ないが今 後行う予 定	行ってい ない(今 後も行 う予定 はない)	全体
① 包括なかじま	11	7	12	30
② 包括けさじろ	7	9	9	25
③ 包括ふそき	1	0	4	5
④ 包括みやうち	2	1	6	9
⑤ 包括まきやま	3	2	0	5
⑥ 包括にしながおか	2	9	6	17
⑦ 中之島	1	0	0	1
⑧ 越路	1	2	0	3
⑨ 三島	0	0	1	1
⑩ 山古志	0	0	0	0
⑪ 小国	0	0	1	1
⑫ 和島	0	0	0	0
⑬ 寺泊	0	0	0	0
⑭ 栃尾	1	3	4	8
⑮ 与板	0	0	1	1
⑯ 川口	1	2	0	3
合計	30	35	44	109

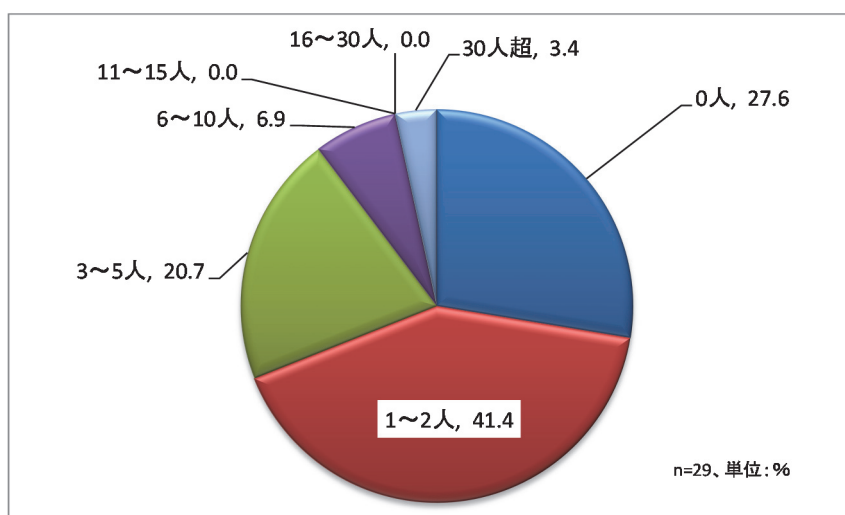
単位: 件

## ②居宅療養管理指導の患者数

### 1. 居宅療養管理指導を行っている個人宅の患者数

居宅療養管理指導を行っている個人宅に住んでいる患者数は、「1～2人」が41.4%で最も多く、「0人（個人宅での患者はなし）」が27.6%、「3人～5人」が20.7%などとなっている。これを保険薬局の所在地域別にみると、図表2-79のとおりである。

図表2-78 居宅療養管理指導の個人宅の患者数



図表2-79 居宅療養管理指導の個人宅の患者数（全体、地域別）

	0	1～2人	3～5人	6～10人	11～15人	16～30人	30人超	全体
①包括なかじま	3	6	2	0	0	0	0	11
②包括けさじろ	2	2	3	0	0	0	0	7
③包括ふそき	0	1	0	0	0	0	0	1
④包括みやうち	0	1	0	0	0	0	0	1
⑤包括まきやま	0	1	1	1	0	0	0	3
⑥包括にしながおか	1	0	0	1	0	0	0	2
⑦中之島	1	0	0	0	0	0	0	1
⑧越路	0	1	0	0	0	0	0	1
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	1	0	0	0	0	0	0	1
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	8	12	6	2	0	0	1	29

単位：件

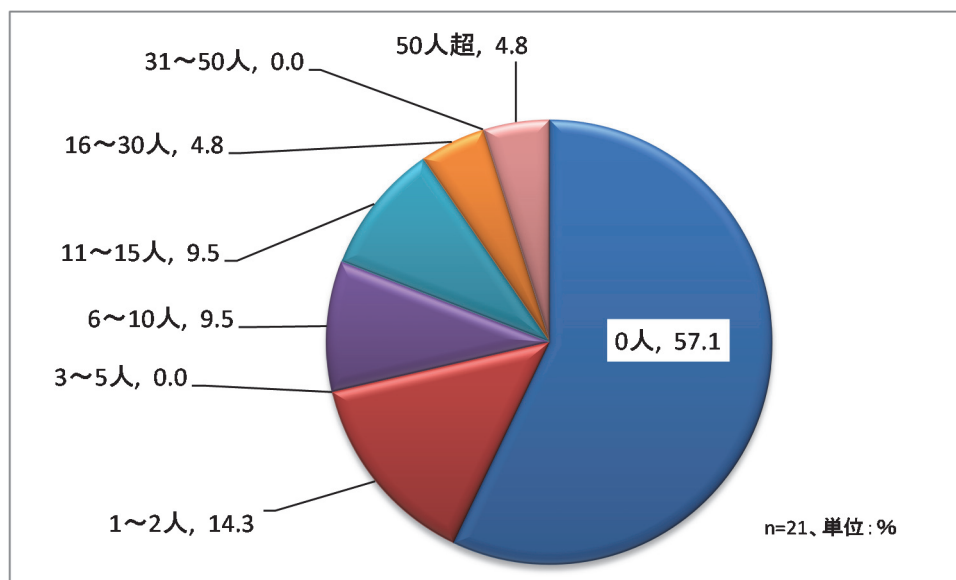


## 2. 施設における居宅療養管理指導を行っている患者数

施設において居宅療養管理指導を行っている患者数は、「0人（患者はなし）」が57.1%と過半数を占め、「1～2人」が14.3%、「6人～10人」と「11～15人」が9.5%などとなっている。

これを保険薬局の所在地域別にみると、図表2-81のとおりである。

図表2-80 施設への居宅療養管理指導提供先患者数



図表2-81 居宅療養管理指導提供施設（地域別）

	0	1～2人	3～5人	6～10人	11～15人	16～30人	31～50人	50人超	全体
①包括なかじま	6	0	0	0	1	0	0	0	7
②包括けさじろ	4	0	0	0	0	1	0	1	6
③包括ふそき	0	0	0	1	0	0	0	0	1
④包括みやうち	0	1	0	0	0	0	0	0	1
⑤包括まきやま	0	0	0	0	1	0	0	0	1
⑥包括にしながおか	0	1	0	1	0	0	0	0	2
⑦中之島	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑧越路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	12	3	0	2	2	1	0	1	21

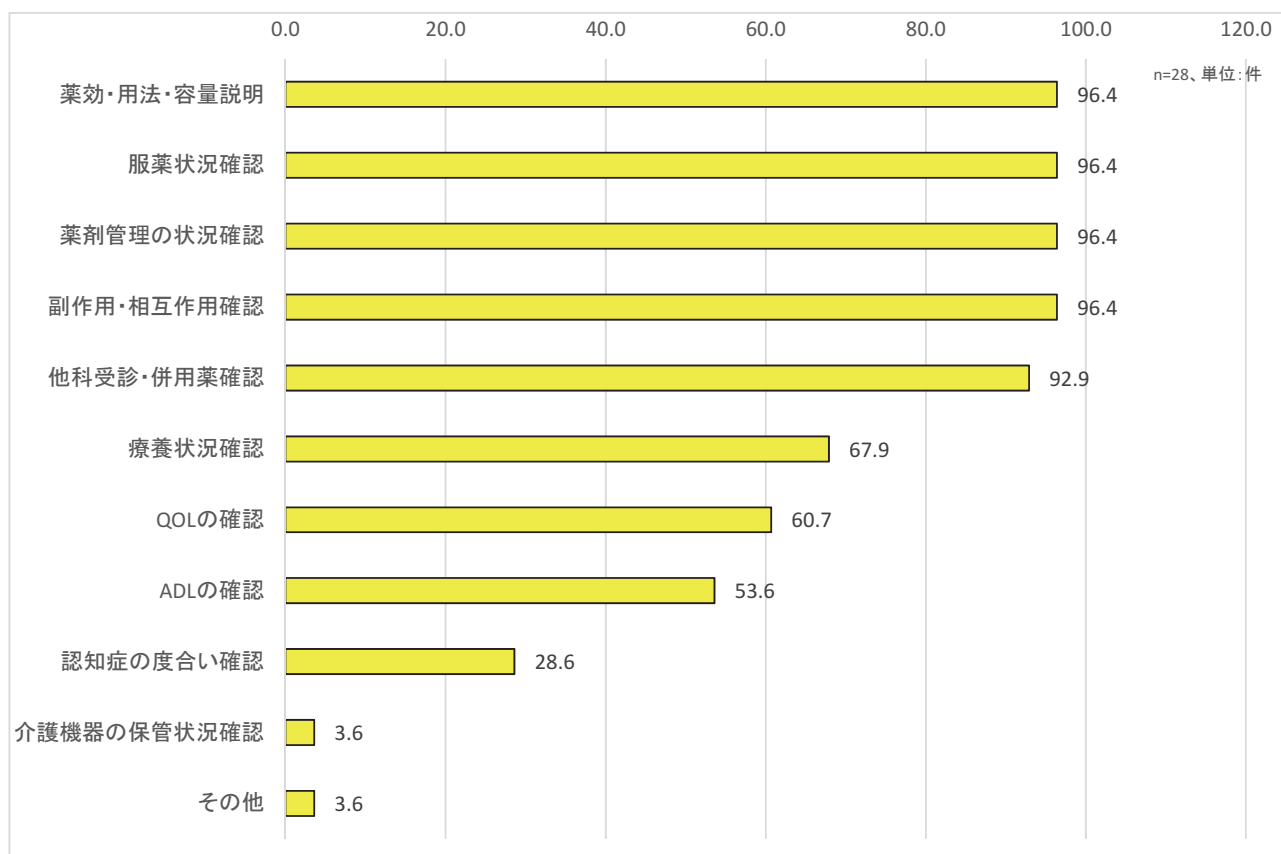
単位：件

### 3. 居宅療養管理指導の内容

居宅療養管理指導の内容は、「薬効・用法・容量説明」「服薬状況確認」「薬剤管理の状況確認」「副作用・相互作用確認」がそれぞれ96.4%あり、「他科受診・併用薬確認」が92.9%、「療養状況確認」が67.9%、「QOLの確認」が60.7%などとなっている。

これを保険薬局の所在地域別にみると図表2-83のとおりである。

図表2-82 居宅療養管理指導の内容



図表2-83 居宅療養管理指導の内容（地域別）

	薬効・用法・容量説明	服薬状況確認	薬剤管理の状況確認	他科受診・併用薬確認	副作用・相互作用確認	療養状況確認	ADLの確認	QOLの確認	介護機器の保管状況確認	認知症の度合い確認	その他	全体
①包括なかじま	10	10	10	9	10	7	6	7	0	2	0	10
②包括けさじろ	7	6	7	6	6	6	4	5	1	2	0	7
③包括ふそき	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1
④包括みやうち	2	2	2	2	2	1	1	2	0	0	0	2
⑤包括まきやま	3	3	3	3	3	2	2	2	0	2	0	3
⑥包括しながおか	2	2	1	2	2	1	1	1	0	2	0	2
⑦中之島	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1
⑧越路	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭板尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1
合計	27	27	27	26	27	19	15	17	1	8	1	28

単位：件

#### 4. 居宅療養管理指導を行っている患者の居住地域

居宅療養管理指導を行っている患者がどの地域に住んでいるかをみると、「包括けさじろ」が7件で最も多く、「包括なかじま」「包括まきやま」「包括にしながおか」がそれぞれ3件などとなっている。

これをを保険薬局の所在地域別にみると、「包括なかじま」「包括けさじろ」「包括まきやま」「包括にしながおか」などの保険薬局では、自地域以外に住んでいる患者に提供している様子が分かる。

図表2-84 居宅療養管理指導患者の居住地域（地域別）

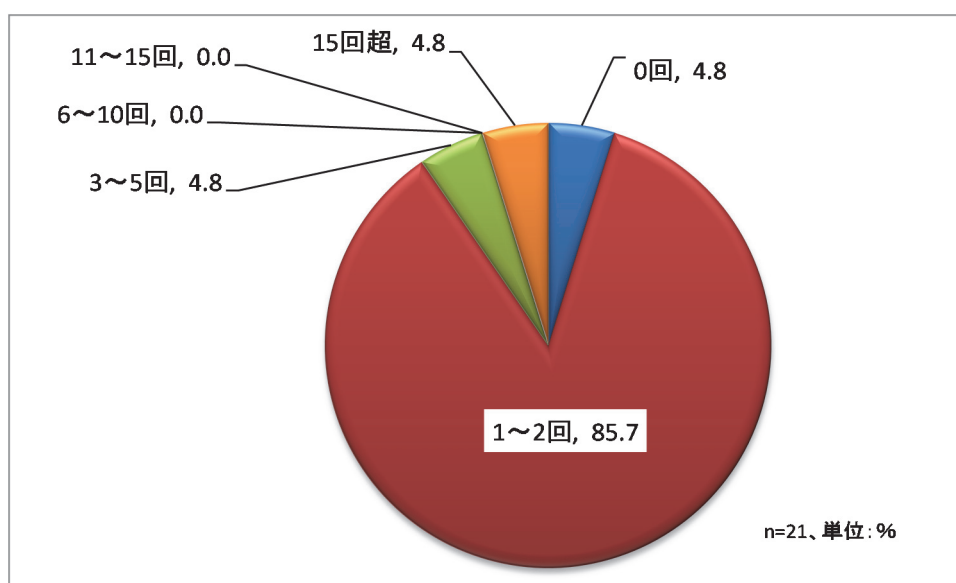
	①包括なかじま	②包括けさじろ	③包括ふそき	④包括みやうち	⑤包括まきやま	⑥包括にしながおか	⑦中之島	⑧越路	⑨三島	⑩山古志	⑪小国	⑫和島	⑬寺泊	⑭栃尾	⑮与板	⑯川口	その他	全体	
①包括なかじま	3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
②包括けさじろ	2	5	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
③包括ふそき	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
④包括みやうち	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
⑤包括まきやま	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
⑥包括にしながおか	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
⑦中之島	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
⑧越路	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	6	6	4	2	4	4	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	41

単位：件

#### 5. 1か月間の訪問頻度

在宅での居宅療養管理指導には、1か所当たり1か月間におおよそどの程度の頻度で訪問しているかについては、「1～2回」が85.7%を占めている。

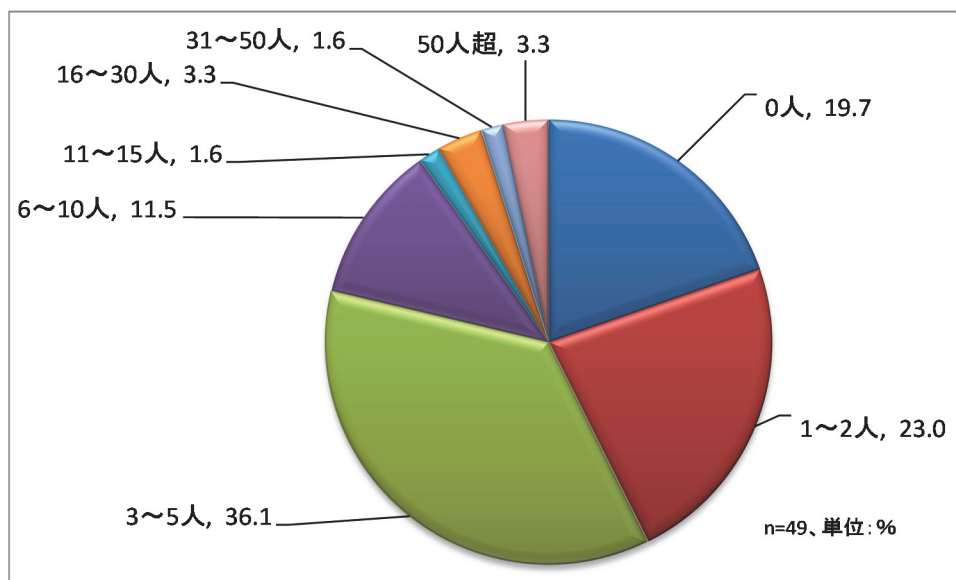
図表2-85 居宅療養管理指導の1か月間の訪問頻度



### ③現体制のままで1か月間に対応可能な在宅患者数

現体制のままで1か月間に対応可能な在宅患者数は、「3～5人」が36.1%で最も多く、「1～2人」が23.0%、「0人（対応できない）」が19.7%、「6～10人」が11.5%などとなっており、「50人超」という保険薬局が3.3%あった。

図表2-86 現体制のままで1か月間に対応可能な在宅患者数



これを保険薬局の所在地域別にみると、図表2-87のとおりである。

図表2-87 現体制のままで1か月間に対応可能な在宅患者数（地域別）

	0	1～2人	3～5人	6～10人	11～15人	16～30人	31～50人	50人超	全体
①包括なかじま	2	6	7	1	0	1	0	0	17
②包括けさじろ	2	2	8	1	0	0	0	2	15
③包括ふそき	1	0	1	0	0	0	0	0	2
④包括みやうち	3	3	0	0	0	0	0	0	6
⑤包括まきやま	0	0	1	1	1	0	0	0	3
⑥包括にしながおか	2	1	3	3	0	0	0	0	9
⑦中之島	0	0	1	0	0	0	0	0	1
⑧越路	0	0	1	0	0	1	0	0	2
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	1	0	0	0	0	0	0	0	1
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	1	2	0	0	0	0	0	0	3
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	0	0	0	1	0	0	1	0	2
合計	12	14	22	7	1	2	1	2	61

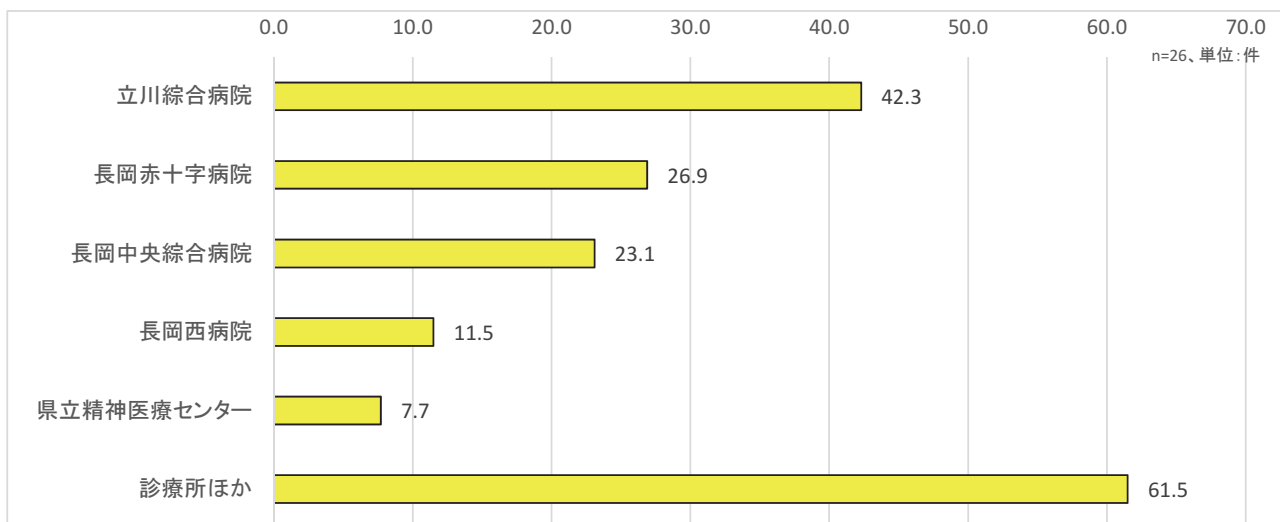
単位：件

#### ④連携してきた病院・診療所や事業所・施設

##### 1. 連携してきた病院・診療所

これまでに連携してきた病院・診療所としては、「立川総合病院」が 42.3%で最も多く、「長岡赤十字病院」が 26.9%、「長岡中央総合病院」が 23.1%などの順となっており、「診療所ほか」としては、「ほんだファミリークリニック」「長尾医院」「しなのハートクリニック」「江陽医院」「高木内科クリニック」などが挙げられていた。

図表 2-88 連携してきた病院・診療所（複数回答）



これを保険薬局の所在地域別にみると図表 2-89 のとおりである。

図表 2-89 連携してきた病院・診療所（地域別）

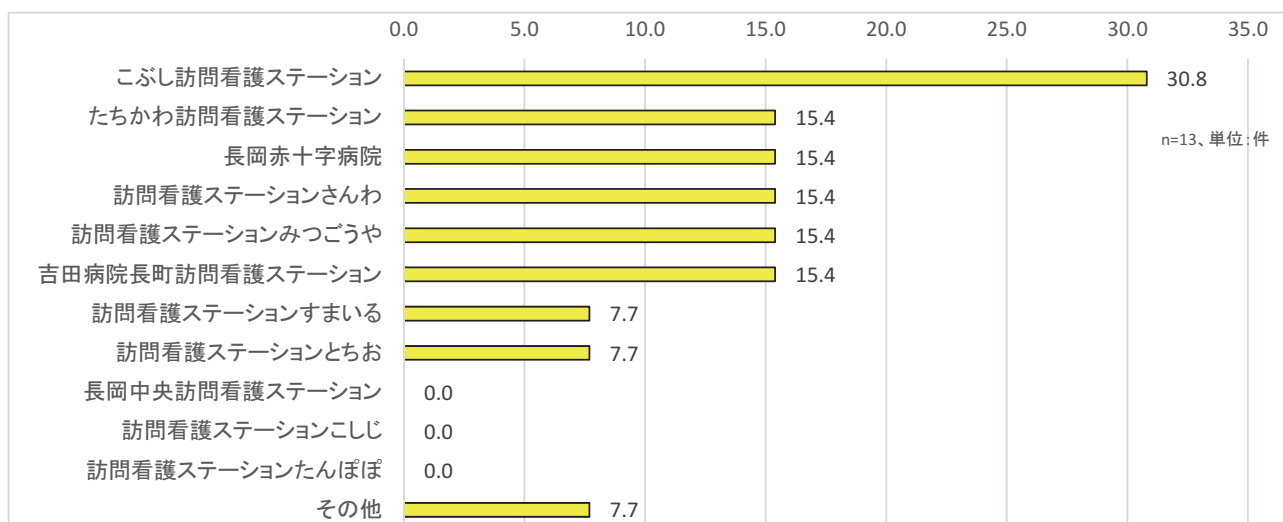
単位：件	県立精神医療センター	立川総合病院	田宮病院	長岡中央総合病院	長岡赤十字病院	長岡西病院	長岡保養園	長岡療育園	三島病院	悠遊健康村病院	吉田病院	診療所ほか	全体
①包括なかじま	1	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6	12
②包括けさじろ	1	2	0	2	2	1	0	0	0	0	0	4	6
③包括ふそき	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
④包括みやうち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
⑤包括まきやま	0	2	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	3
⑥包括にしながおか	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1
⑦中之島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧越路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	11	0	6	7	3	0	0	0	0	0	16	26

単位：件

## 2. 連携してきた訪問看護ステーション

これまでに連携してきた訪問看護ステーションとしては、「こぶし訪問看護ステーション」が30.8%で最も多く、「たちかわ訪問看護ステーション」「長岡赤十字病院」「訪問看護ステーションさんわ」「訪問看護ステーションみつごうや」「吉田病院長町訪問看護ステーション」がそれぞれ15.4%などとなっている。

図表2-90 連携してきた訪問看護ステーション（複数回答）



これを保険薬局の所在地域別にみると図表2-91のとおりである。

図表2-91 連携してきた訪問看護ステーション（地域別答）

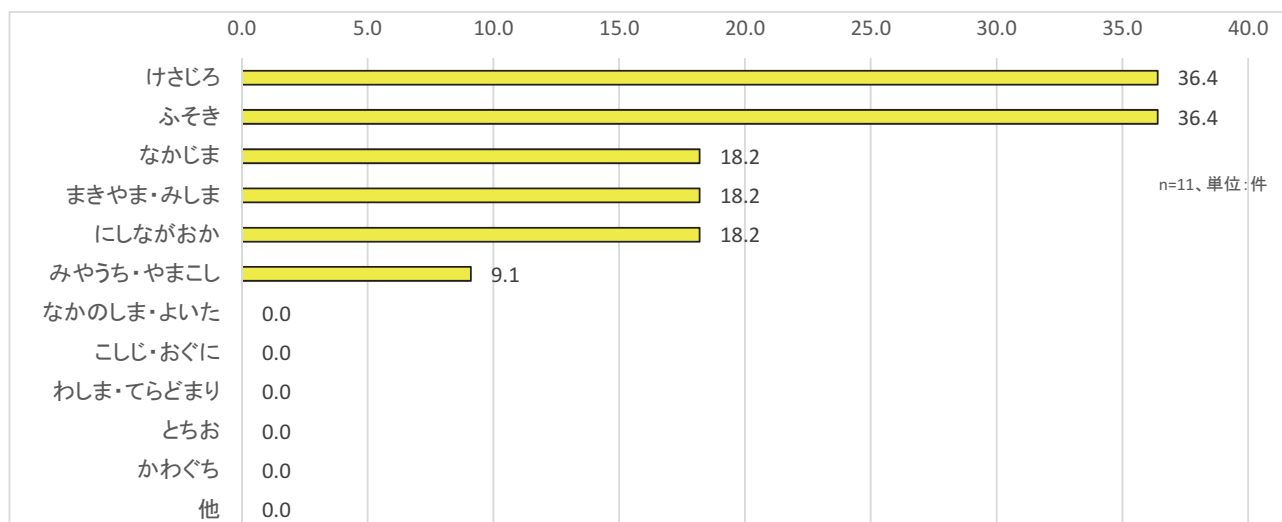
単位：件	こぶし訪問看護ステーション	たちかわ訪問看護ステーション	長岡赤十字病院	長岡中央訪問看護ステーション	訪問看護ステーションこしじ	訪問看護ステーションさんわ	訪問看護ステーションすまいる	訪問看護ステーションたんぼぼ	訪問看護ステーションとちお	訪問看護ステーションみつごうや	吉田病院長町訪問看護ステーション	その他	全体
①包括なかじま	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
②包括けさじろ	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5
③包括ふそき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④包括みやうち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
⑤包括まきやま	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
⑥包括にしがおか	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2
⑦中之島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧越路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	2	0	0	2	1	0	1	2	2	1	13

単位：件

### 3. 連携してきた地域包括支援センター

これまでに連携してきた地域包括支援センターとしては、「けさじろ」「ふそき」が 36.4%ずつ、「なかじま」「まきやま・みしま」「にしながおか」が 18.2%ずつなどとなっている。

図表 2-92 連携してきた地域包括支援センター（複数回答）



これを保険薬局の所在地域別にみると図表 2-93 のとおりである。

図表 2-93 連携してきた地域包括支援センター（地域別答）

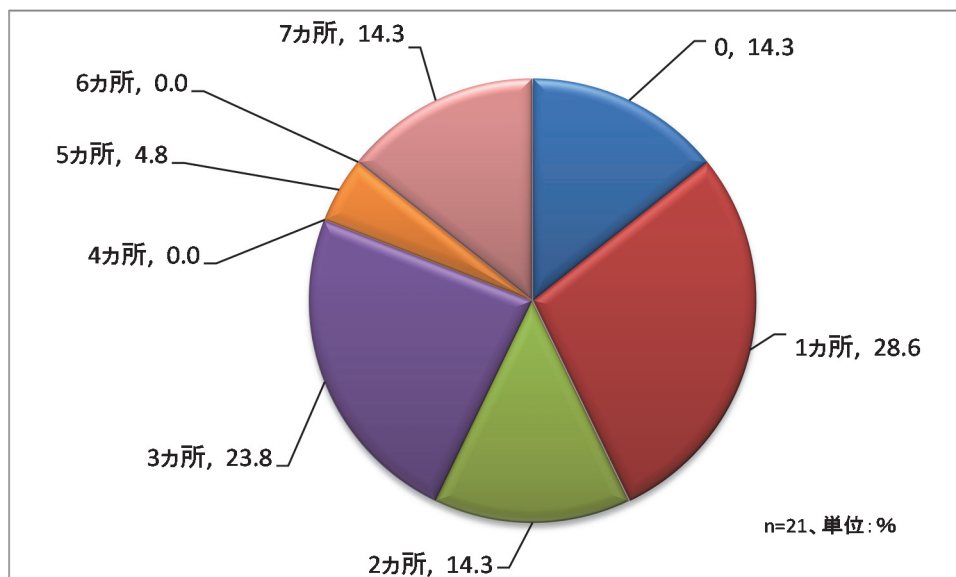
単位・件	なかじま	けさじろ	ふそき	みやうち・やまこし	まきやま・みしま	にしながおか	なかのしま・よいた	こじ・おぐに	わしま・てらどまり	とちお	かわぐち	全体
①包括なかじま	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②包括けさじろ	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③包括ふそき	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④包括みやうち	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤包括まきやま	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
⑥包括にしながおか	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
⑦中之島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧越路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	4	4	1	2	2	0	0	0	0	0	11

単位：件

#### 4. 連携してきた介護サービス事業所

これまでに連携してきた介護サービス事業所としては、「1か所」が28.6%で最も多く、「3か所」が23.8%、「0」「2か所」「7か所」が14.3%などとなっている。

図表2-94 連携してきた介護サービス事業所（複数回答）



これを保険薬局の所在地域別にみると図表2-95のとおりである。

図表2-95 連携してきた介護サービス事業所（地域別答）

	0	1か所	2か所	3か所	4か所	5か所	6か所	7か所以上	全体
①包括なかじま	0	2	1	1	0	1	0	0	5
②包括けさじろ	1	3	2	1	0	0	0	1	8
③包括ふそき	0	0	0	1	0	0	0	0	1
④包括みやうち	1	0	0	1	0	0	0	0	2
⑤包括まきやま	0	1	0	1	0	0	0	0	2
⑥包括にしながおか	0	0	0	0	0	0	0	2	2
⑦中之島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧越路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	3	6	3	5	0	1	0	3	21

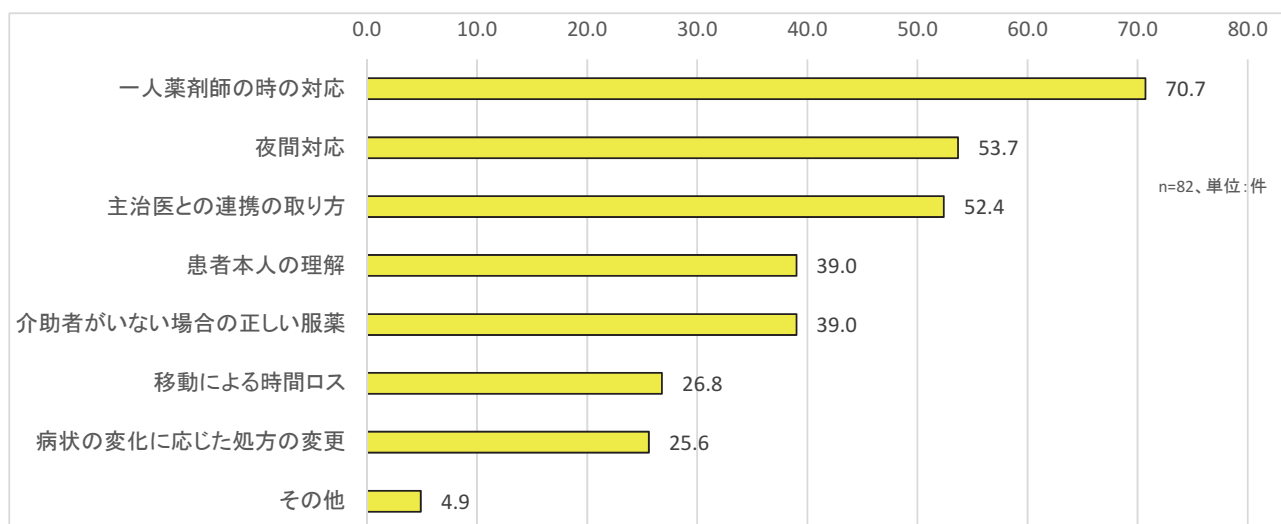
単位：件



### ⑤居宅療養管理指導を行う上での課題

居宅療養管理指導を行う上での課題としては、「一人薬剤師の時の対応」が70.7%で最も多く、「夜間対応」が53.7%、「主治医との連携の取り方」が52.4%、「患者本人の理解」と「介助者がいない場合の正しい服薬」が39.0%などの順となっている。

図表2-96 居宅療養管理指導を行う上での課題



居宅療養管理指導を行う上での課題を保険薬局の所在地域別にみると図表2-97のとおりである。

図表2-97 居宅療養管理指導を行う上での課題（地域別）

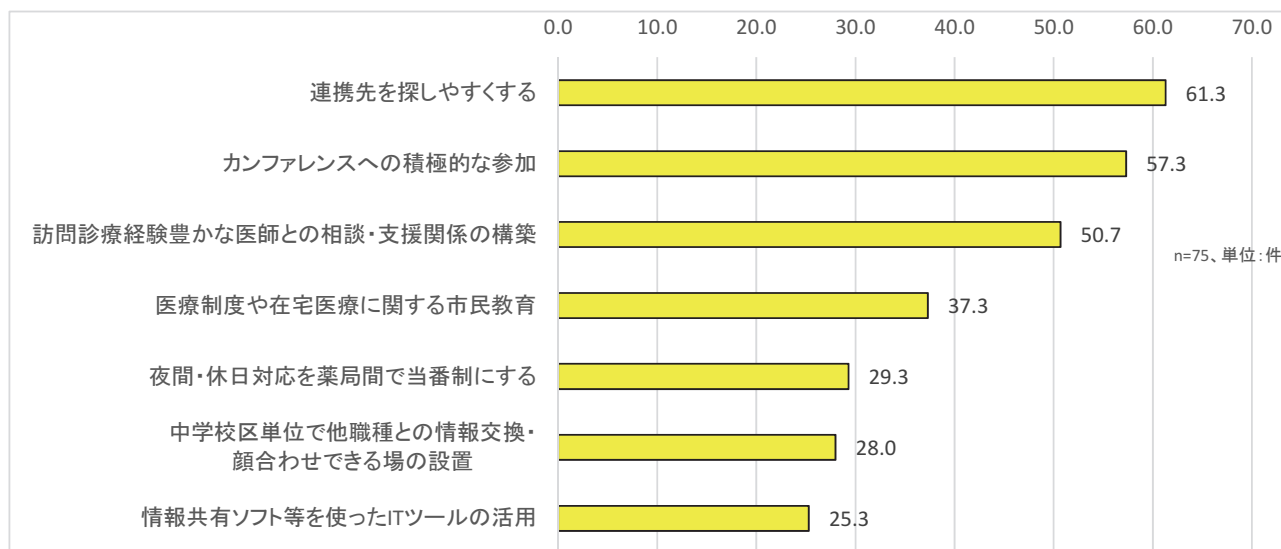
単位:件	主治医との連携の取り方	病状の変化に応じた処方の変更	患者本人の理解	介助者がいない場合の正しい服薬	一人薬剤師の時の対応	夜間対応	移動による時間ロス	その他	全体
①包括なかじま	13	4	9	7	16	11	5	1	23
②包括けさじろ	7	1	6	7	11	9	6	1	19
③包括ふそき	2	1	2	2	2	3	2	1	4
④包括みやうち	1	1	2	3	7	4	0	0	7
⑤包括まきやま	2	3	1	1	3	1	0	0	4
⑥包括にしながおか	8	5	4	4	8	8	6	0	11
⑦中之島	1	1	1	1	1	1	1	0	1
⑧越路	3	3	2	2	3	2	2	1	3
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	1	1	1	1	1	0	0	1
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	4	1	2	4	5	3	0	0	6
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	2	0	2	0	1	1	0	0	3
合計	43	21	32	32	58	44	22	4	82

単位:件

⑥居宅療養管理指導の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組

居宅療養管理指導の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組としては、「連携先を探しやすくする」が61.3%で最も多く、「カンファレンスへの積極的な参加」が57.3%、「訪問診療経験豊かな医師との相談・支援関係の構築」が50.7%、「医療制度や在宅医療に関する市民教育」が37.3%などの順となっている。

図表 2-98 居宅療養管理指導の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組



保険薬局の所在地域別にみると図表 2-99 のとおりである。

図表 2-99 居宅療養管理指導の負担軽減や業務の円滑な遂行のために、有効と思われる取組（地域別）

	連携先を探しやすくする	夜間・休日対応を薬局間で当番制にする	カンファレンスへの積極的な参加	訪問診療経験豊かな医師との相談・支援関係の構築	中学校区単位で他職種との情報交換・顔合わせできる場の設置	情報共有ソフト等を使ったITツールの活用	医療制度や在宅医療に関する市民教育	その他	全体
①包括なかじま	14	7	13	11	6	6	6	0	20
②包括けさじろ	11	5	7	9	6	3	6	0	17
③包括ふそき	2	1	2	2	1	0	1	0	3
④包括みやうち	3	1	5	1	0	1	2	0	8
⑤包括まきやま	3	1	2	2	2	2	3	0	4
⑥包括にしながおか	7	5	7	6	3	3	4	0	10
⑦中之島	0	0	0	1	0	1	0	0	1
⑧越路	3	2	2	3	1	1	1	0	3
⑨三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩山古志	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪小国	0	0	1	1	0	1	0	0	1
⑫和島	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬寺泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭栃尾	2	0	3	2	1	0	4	0	6
⑮与板	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯川口	1	0	1	0	1	1	1	0	2
合計	46	22	43	38	21	19	28	0	75

単位：件

### ⑦居宅療養管理指導に対する行政の支援等に対する意見

居宅療養管理指導に対する行政の支援等に対する自由意見をみると、居宅療養管理指導に関しては、「市民に対する普及・啓発などの情報発信が重要」や「バックアップ体制の整備」「関連機関間の連携強化」などといった意見が多くなっている。

具体的には、以下のような意見が寄せられた。

#### <多職種連携支援>

ケアカフェ等の多職種の意見交換の開催支援があると良いと思う。
多職種との連携の場があると助かる。
介護関係の会議（担当者会議含む）は平日の日中が非常に多く、薬局薬剤師は出席しづらい。居宅療養管理指導業務は行っても多職種との連携が取りづらいつ感じている。

#### <情報の周知>

居宅療養管理指導届を出し、受理されている薬局を広報してほしい。連携先を探しやすくしてほしい。
支援センターと思われる方からの、電話による問合せを受けたことがあるが、薬を取りに行けないので、とりあえず配達をしてほしいという内容であった。服薬状況のチェックや、困りごとに対する相談を受けたりもしていることを理解してもらえるように、「居宅療養管理指導」とは何をする事なのかをケアスタッフ等に伝えてほしい。
薬剤師による居宅療養管理指導をもっと多くの人に知ってほしいのでチラシや口頭でアピールしてほしい。

#### <経営支援>

在宅患者にもっと踏みこんで対応できる時間など、体制を支援してほしい。
薬剤師の拘束される時間や労力を考えると、現行の単位では居宅療養管理指導に伺えない薬局もあると思う。（経営的に見て）今後、その点を考慮してほしい。

## 5 訪問看護ステーション向けアンケート調査

### (1) アンケート調査方法

【調査対象】長岡市内に立地する訪問看護ステーション（全12件）

【調査時期】平成26年9月17日発送、9月30日まで回収

【調査方法】郵送による配布・回収

#### 【調査項目】

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 1か月に対応可能な訪問看護の件数   |
| 2. 訪問看護利用者の往診・訪問診療の状況 |
| 3. 訪問看護利用者の内訳         |
| 4. 緊急対応の状況            |
| 5. 訪問看護ステーション間の連携     |

（詳細は次ページの調査票参照）

【回収機関数】有効回答12機関（回収率100.0%）

## (2) アンケート調査票

### 1. 対応可能な地域

		該当するところに○印	
		対応可能	H25実績あり
長岡市内	包括なかじま		
	包括けさじろ		
	包括ふそき		
	包括みやうち		
	包括まきやま		
	包括にしながおか		
	中之島		
	越路		
	三島		
	山古志		
	小国		
	和島		
	栃尾		
	寺泊		
	与板		
川口			
見附市			
出雲崎町			
刈羽村			
柏崎市			
小千谷市			

### 2. 対応可能なサービス

		該当するところに○印	
		対応可能	H25実績あり
人工呼吸器管理			
人工肛門（ストマ）			
人工膀胱			
吸引			
在宅中心静脈栄養法（IVH）			
在宅自己腹膜灌流法（CAPD）			
在宅酸素療法（HOT）			
気管カニューレ			
点滴・静脈注射			
経管栄養法（胃ろうを含む）			
腎ろう・膀胱ろう			
膀胱留置カテーテル			
麻薬を用いた疼痛管理			
その他			

### 3. 対応可能な人数

おおよそ	人
------	---

### 4. 往診・訪問診療の有無の指示数（H25実績数）

	指示書発行医師	
	病院	診療所
往診・訪問診療なし、訪問看護のみ		
往診・訪問診療あり、訪問看護あり		
合 計		

### 5. 訪問看護利用者数（H25実績数）

	指示書発行医師	
	病院	診療所
利用者総数		
（難病患者の再掲）	（ ）	（ ）
（ターミナルの再掲）	（ ）	（ ）
（特殊な治療管理の再掲）	（ ）	（ ）

### 6. 訪問看護終了者数（H25実績数）

		指示書発行医師	
		病院	診療所
死亡	在宅死		
	（うち、検視数の再掲）	（ ）	（ ）
	救急搬送後死亡（入院後を除く）		
	入院死		
長期入所			
転院（転院先近くでの訪問看護利用へ）			
軽快（自己管理可能など）			
利用者（家族）の都合（上記以外）			
合 計			

### 7. 緊急対応の状況（H25実績数）

電話対応のみ	
（その時医師に連絡した件数の再掲）	（ ）
電話対応後、訪問看護あり	
（その時医師に連絡した件数の再掲）	（ ）

### 8. 訪問看護ステーション間の連携（H25実績数）

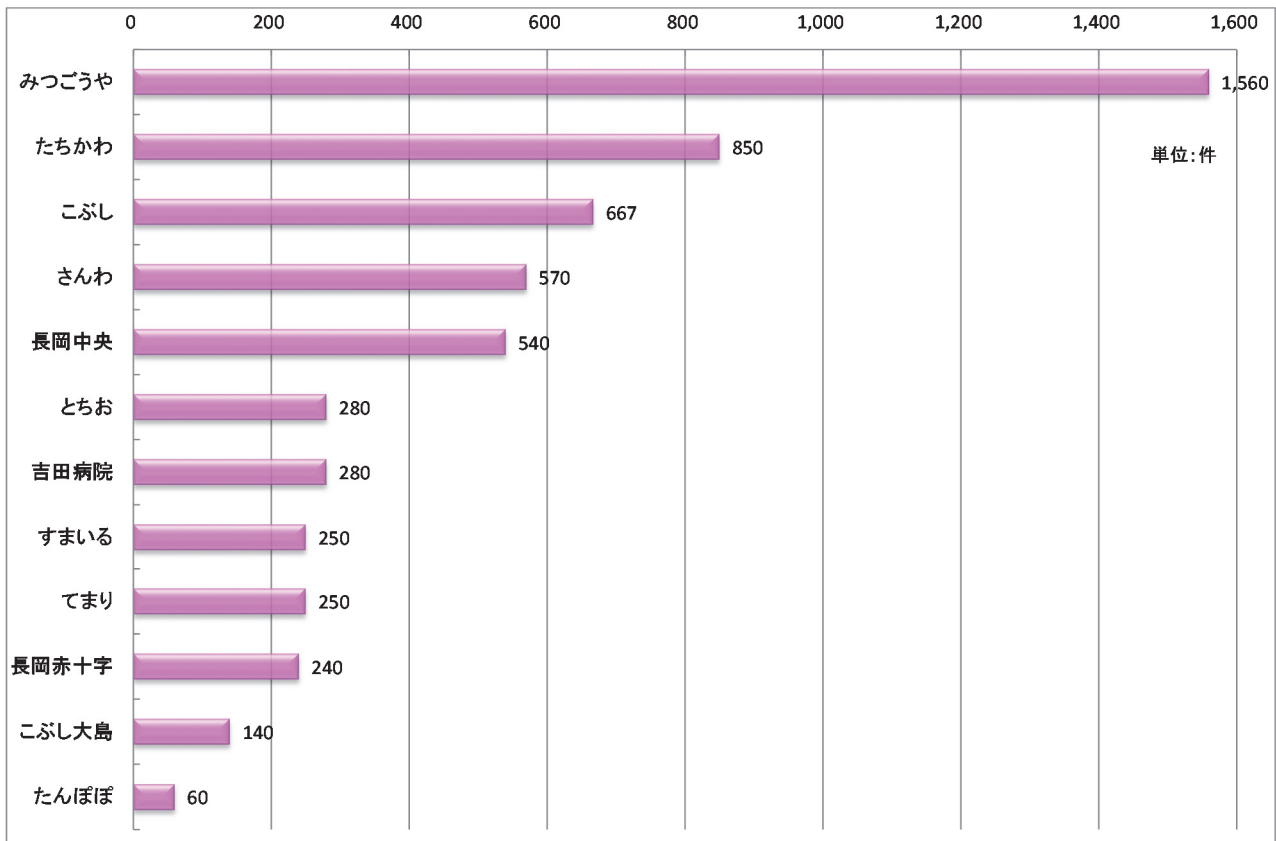
1人の利用者に対し、他の訪問看護ステーションとの連携ありの実人数	
----------------------------------	--

### (3) アンケート調査結果

#### ① 1か月に対応可能な訪問看護の件数

1か月に対応可能な訪問看護の件数は、「みつごうや」が1,560件で最も多く、「たちかわ」が850件、「こぶし」が667件、「さんわ」が570件、「長岡中央」が540件などの順となっている。

図表2-100 1か月に対応可能な訪問看護の件数



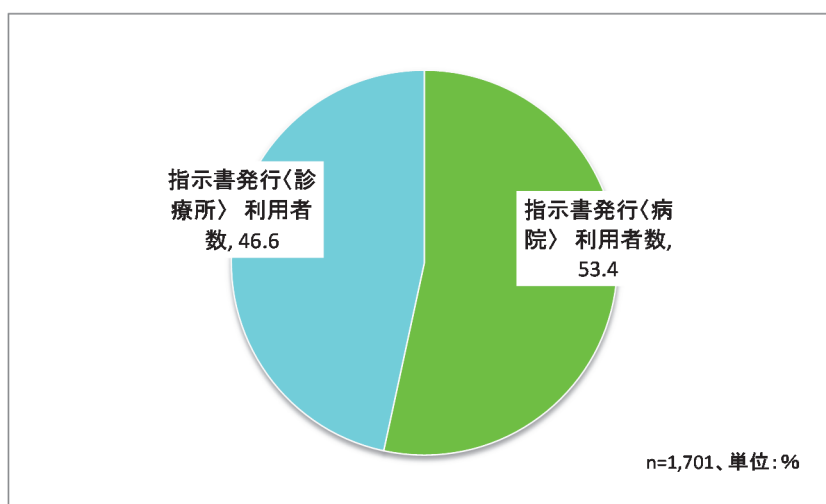
## ②訪問看護利用者の往診・訪問診療の状況

訪問看護利用者の往診・訪問診療の状況を「指示書発行が病院」の場合と「指示書発行が診療所」の場合に分けてみると、以下のとおりである。

### 1. 指示書発行の利用者の状況

「指示書発行が病院」の利用者が 53.4%と過半数を占め、「指示書発行が診療所」が 46.6%となっている。

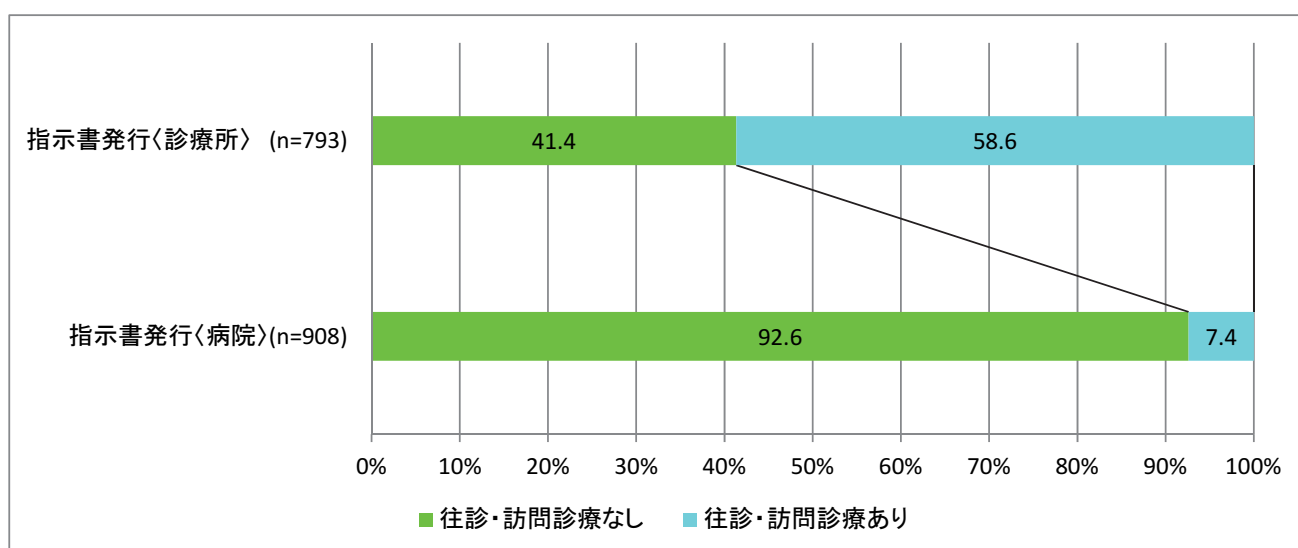
図表 2-101 指示書発行の利用者の状況



### 2. 往診・訪問診療の有無の状況

「指示書発行が診療所」の場合、「往診・訪問診療なし」は 41.4%、「往診・訪問診療あり」が 58.6%と、「往診・訪問診療あり」の方が多くなっているが、「指示書発行が病院」の場合は、「往診・訪問診療なし」が 92.6%を占めている。

図表 2-102 往診・訪問診療の有無による状況

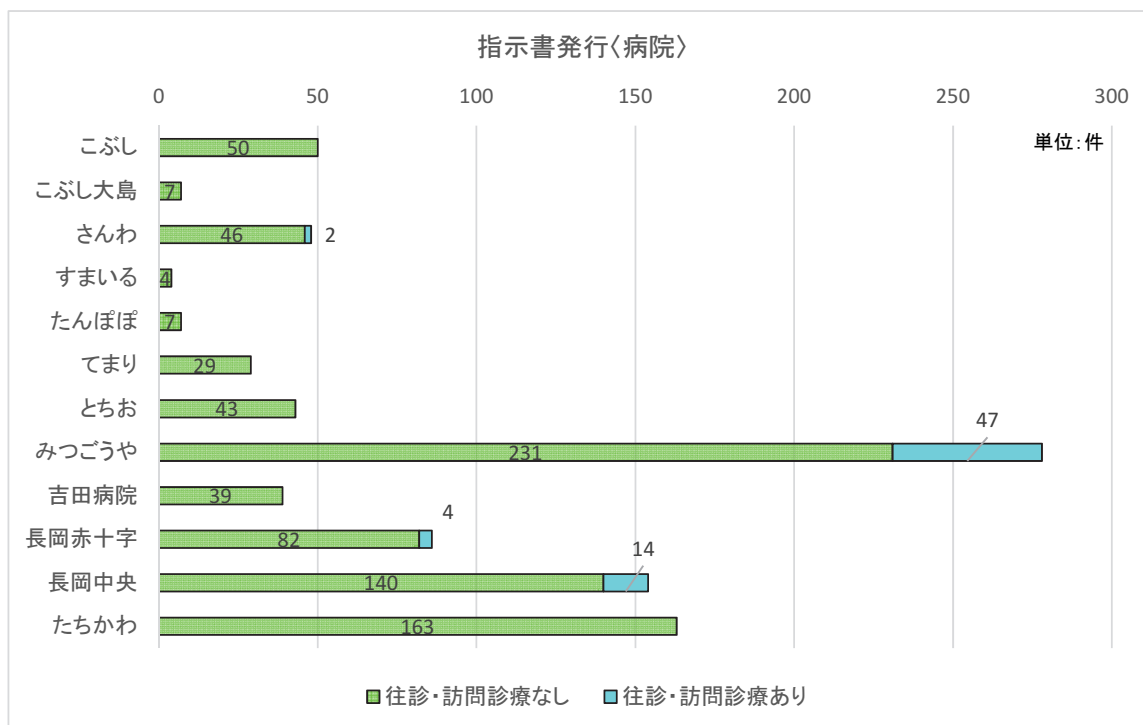


### 3. 地域別往診・訪問診療の有無の状況

往診・訪問診療の有無の状況を地域別にみると、「指示書発行が病院」の場合、「往診・訪問診療あり」は「みつごうや」の47件、「長岡中央」の14件、「長岡赤十字」の4件となっている。

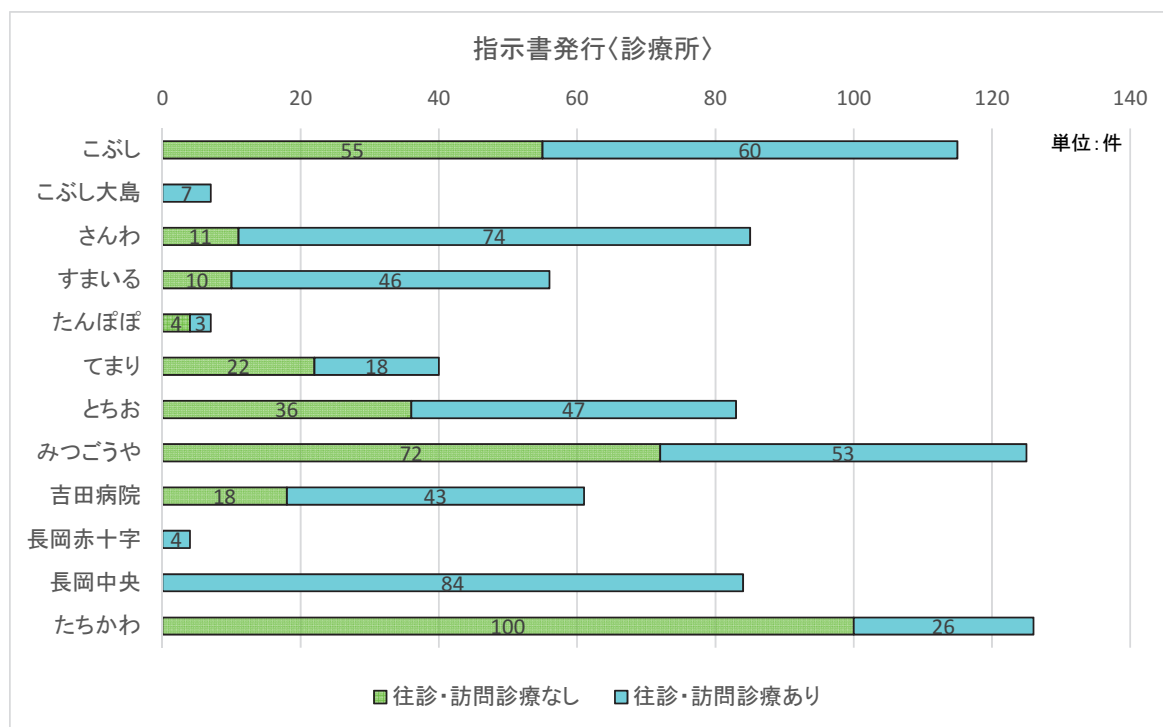
これに対し「指示書発行が診療所」の場合、「往診・訪問診療あり」は各ステーションであり、「長岡中央」が84件で最も多く、「さんわ」が74件、「こぶし」60件、「みつごうや」53件などとなっている。

図表2-103 指示書発行が病院の場合のステーション別往診・訪問診療の有無





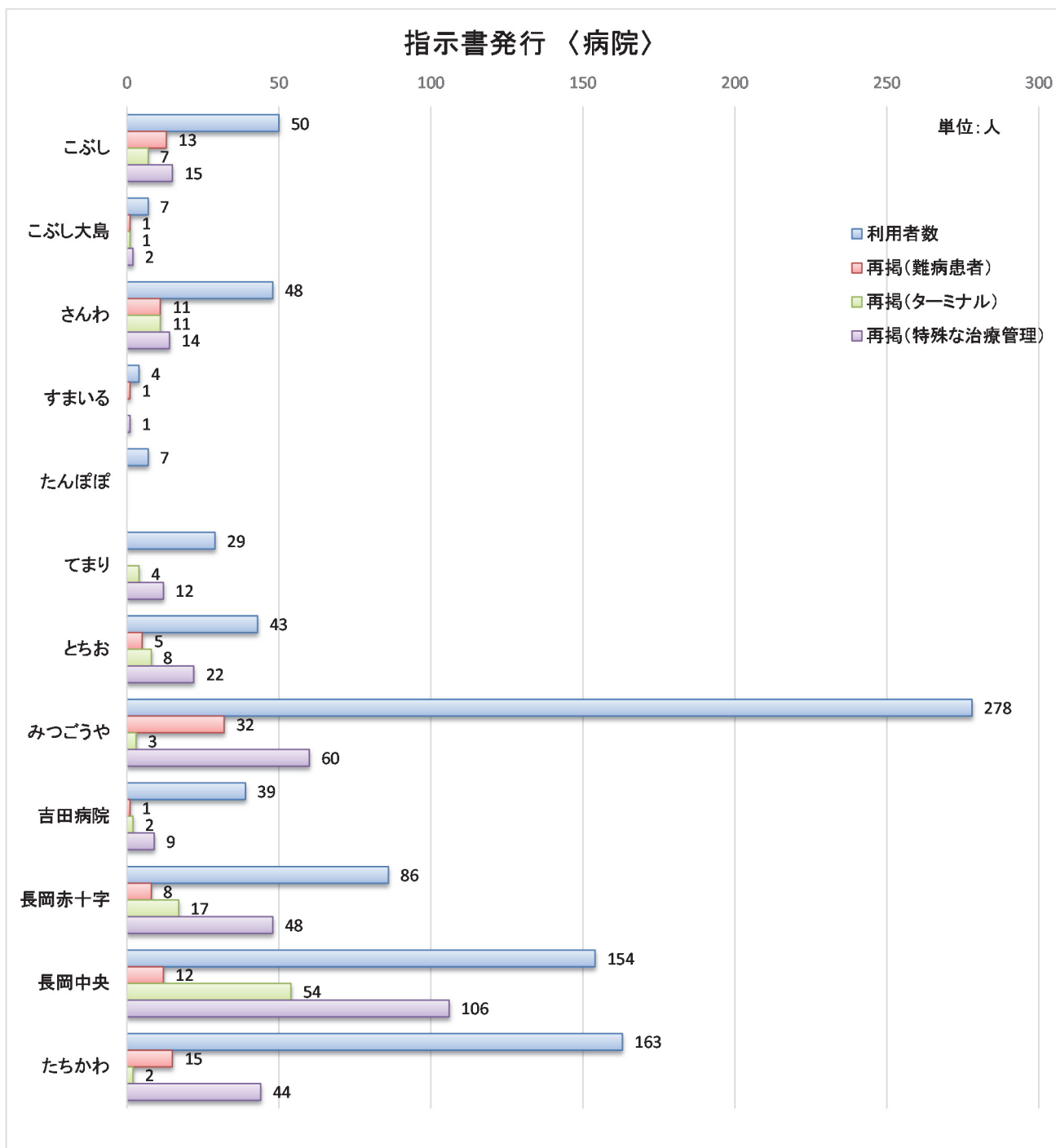
図表 2-104 指示書発行が診療所の場合のステーション別往診・訪問診療の有無



### ③訪問看護利用者の内訳

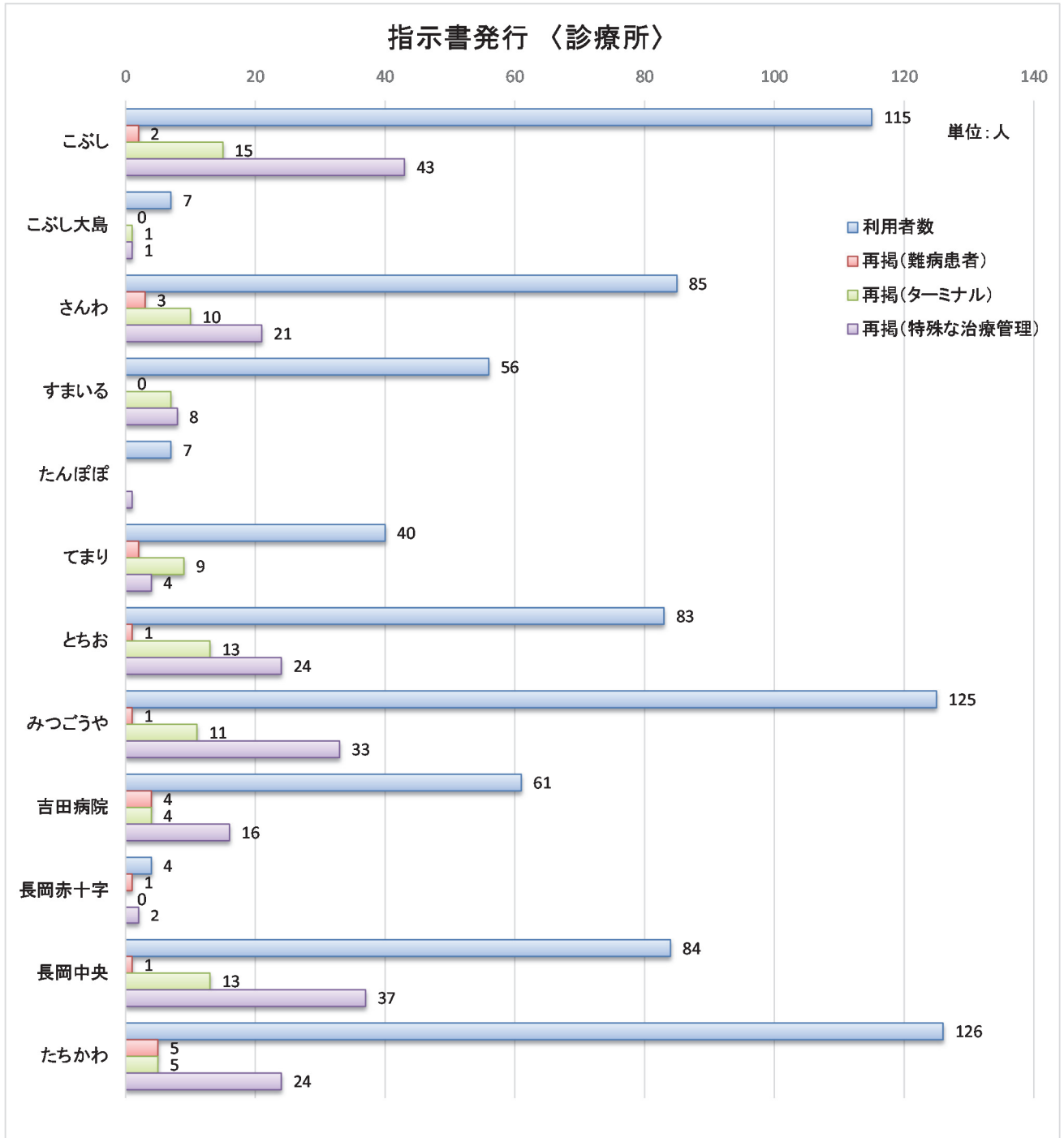
訪問看護利用者の内訳を指示書の発行主体別にみると、指示書発行が病院の場合、利用者は「みつごうや」の278人が最も多く、「たちかわ」が163人、「長岡中央」が154人などとなっている。

図表2-105 ステーション別訪問看護利用者の内訳（指示書発行が病院）



指示書発行が診療所の場合、利用者は「たちかわ」が 126 人で最も多く、「みつごうや」が 125 人、「こぶし」が 115 人などとなっている。

図表 2-106 ステーション別訪問看護利用者の内訳（指示書発行が診療所）

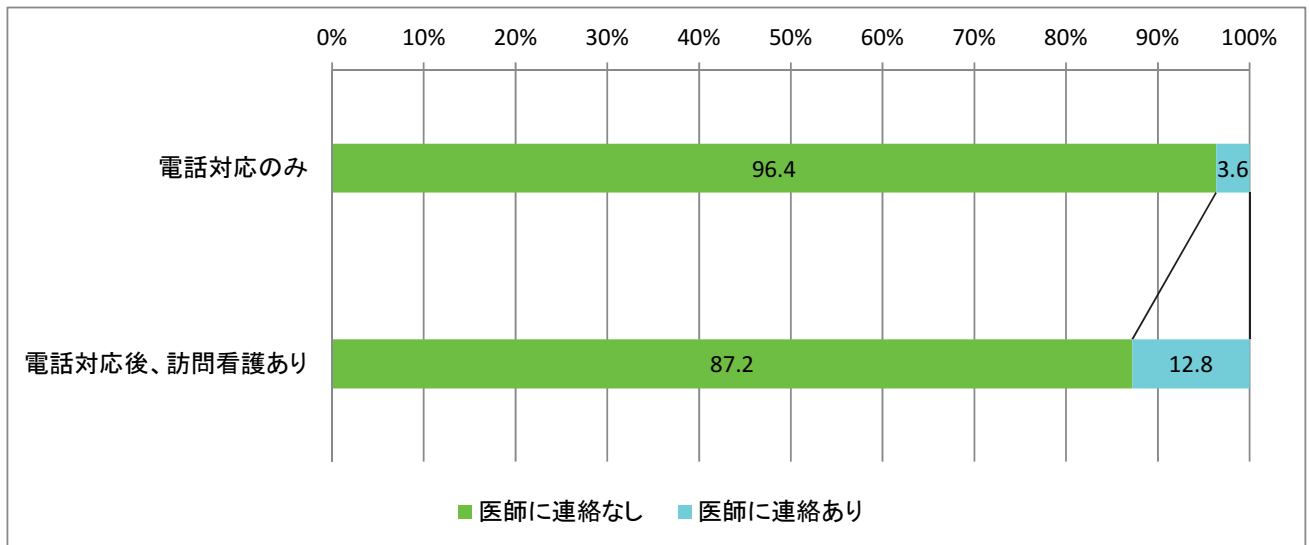


#### ④緊急対応の状況

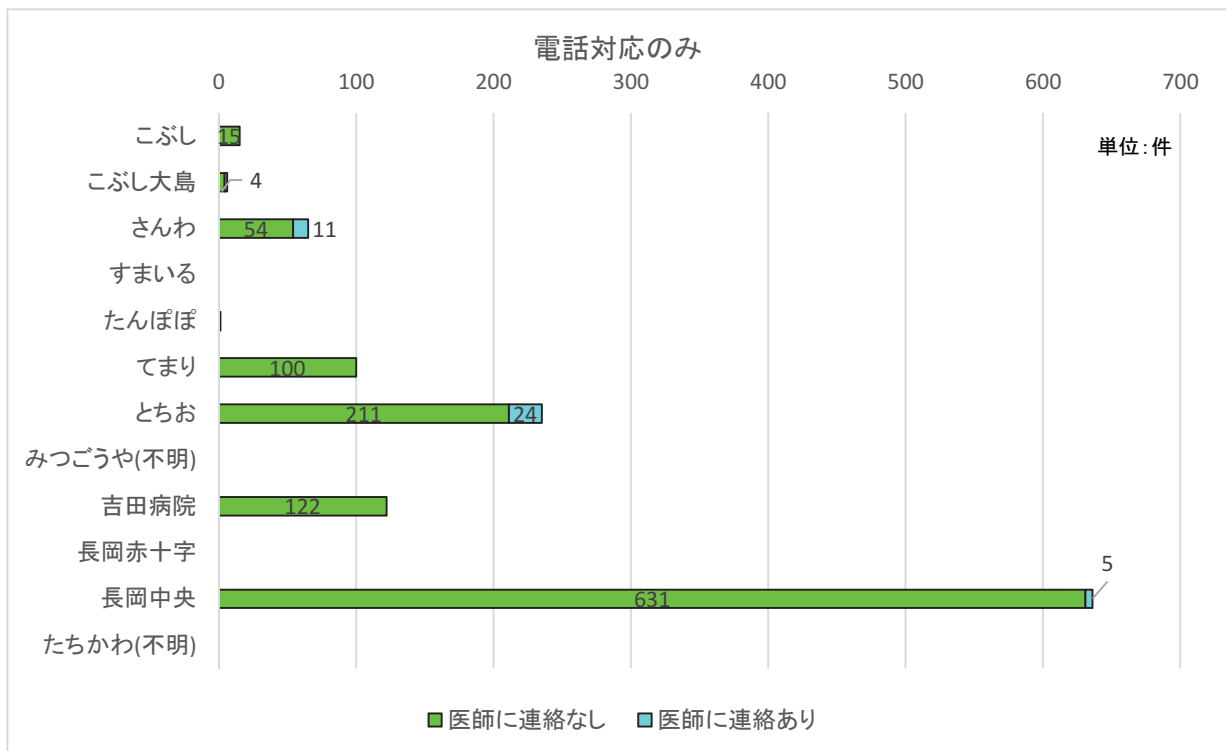
緊急対応の状況について、「電話対応のみ」の場合と「電話対応後、訪問看護あり」の場合に分けてみると、「電話対応のみ」の場合は「医師に連絡なし」が96.4%を占め、「医師に連絡あり」が3.6%であるのに対し、「電話対応後、訪問看護あり」の場合は「医師に連絡なし」が87.2%「医師に連絡あり」が12.8%となっている。

これをステーション別にみると、図表 2-108・109 のとおりである。

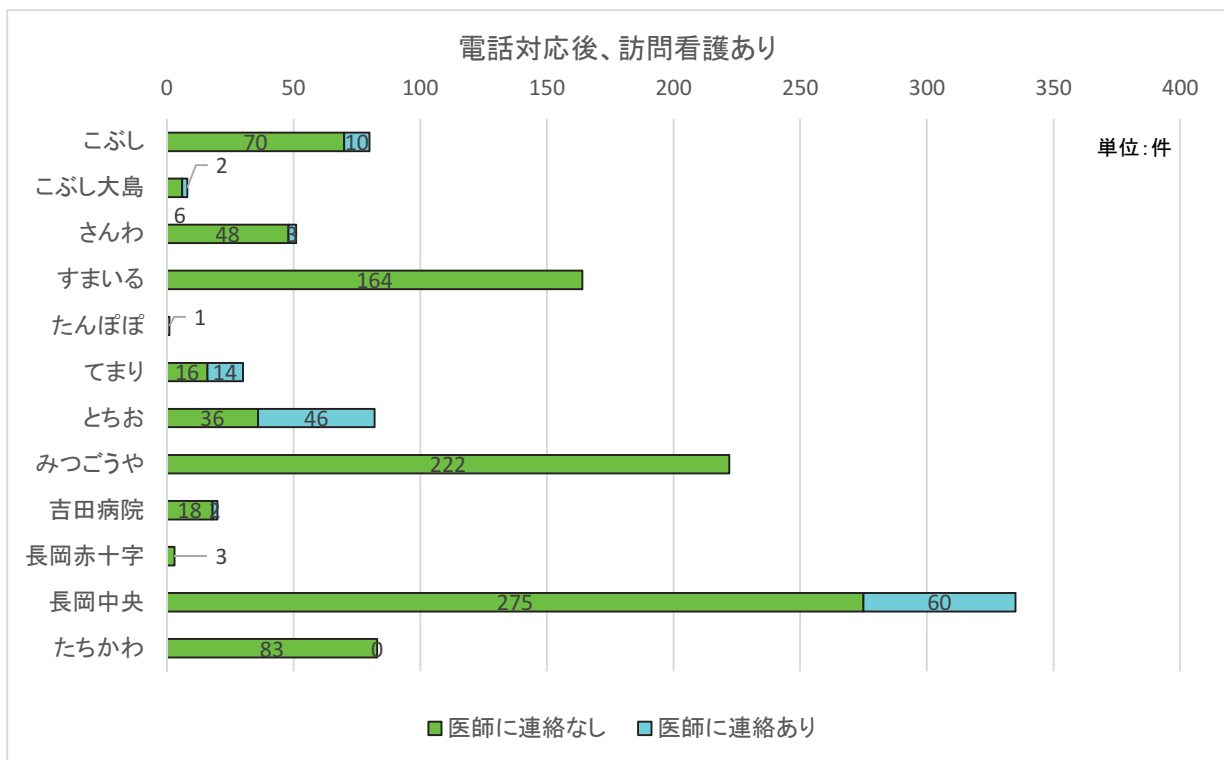
図表 2-107 緊急対応の状況



図表 2-108 ステーション別緊急対応の状況（電話対応のみの場合）



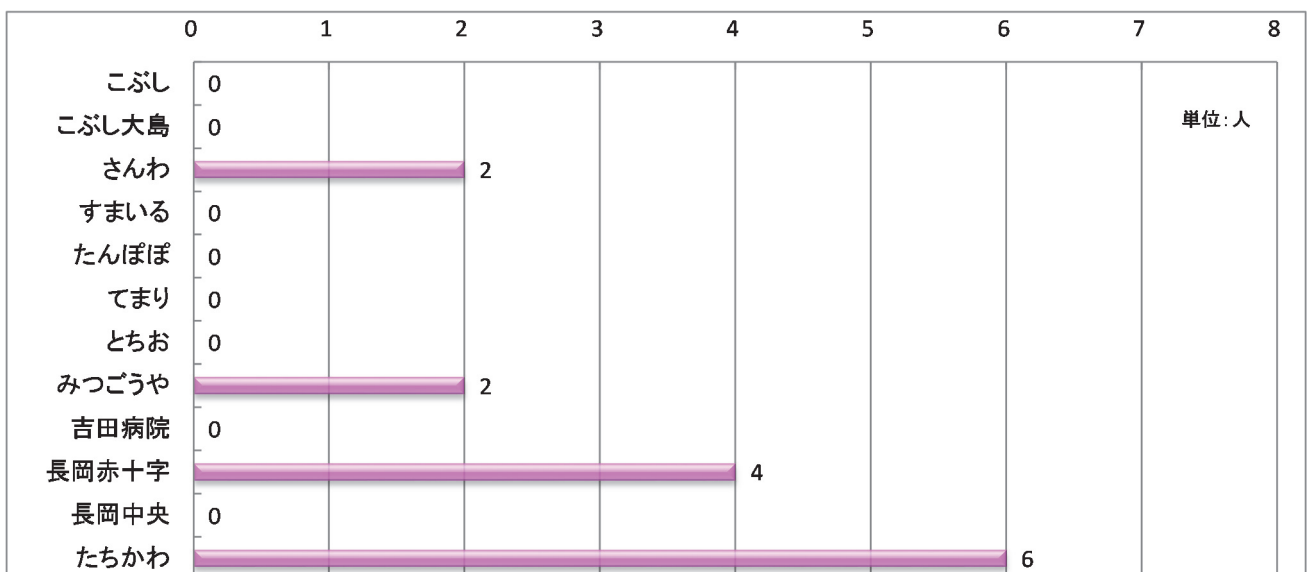
図表2-109 ステーション別緊急対応の状況（電話対応後、訪問看護ありの場合）



⑤訪問看護ステーション間の連携

訪問看護ステーション間の連携としては、「たちかわ」が6人で最も多く、「長岡赤十字」が4人、「さんわ」と「みつごうや」が2人となっている。

図表2-110 訪問看護ステーション間の連携



(他の訪問看護ステーションとの連携がある患者の実人数)

